

**2015年度**

平成27年度

# 文学部履修案内



**千葉大学文学部**

# 文学部へようこそ

文学部とは何を学ぶところでしょうか？ みなさんならそう問いかけられたときにどんな答を返すでしょうか？ 文学部には、徹底的にテキストを読み込んでいく文献重視の研究分野から、絵画・映像・演劇などのイメージ資料を扱う研究分野、さらには、フィールドワークを通して社会科学的な手法から人間の行動と社会を描き出す研究分野、実験に基づき人間の知覚のしくみを解明していく自然科学に近接する研究分野まで、極めて多様な学問領域が展開されており、一見した限りでは統一的なイメージを抱きにくいように感じられるかもしれません。

ただ、私たち千葉大学文学部においては、それら多様な領域を貫いて共有されているものが少なくとも二つあります。

第一は、人間それ自体と、人間の作り上げてきた文化・社会に対する根源的な問いかけを学問の根底に置いていることです。現在、世界は大きく変動していますが、だからこそ、幅広い知見を備え、その基礎の上に立って考え抜き、変容する世界にたじろぐことなく向かい合い、未知の事態に対処するための指針を示すことがますます重要になっています。そして文学部における学びとは、つまるところそのような本質的な問いに応えることなのだと思えます。文学部の学問は、人間社会の抱える目の前の課題に対して短期的な処方箋を示すのには必ずしも向いていないのかもしれませんが、時間と空間を越えて遠くまで眼差しを放ち、人間とその営みについて徹底的に考察することは、たぶん私たちがよりよい社会を構想していくための基礎となるはずです。

第二に、それぞれの学問領域において、使用する資料の様態、収集と解析の技法は大いに異なるものの、どの分野においても私たちが重視するのは、学生諸君が自ら疑問を抱いて課題を設定し、その課題を解くために必要な資料を自力で収集・分析し、得られた結果を論理的・説得的な「文」として表現する能力を獲得することです。その意味で、みなさんが4年次に執筆を義務づけられている卒業論文は、文学部における履修の中でみなさんが獲得した能力を証明するために用意された学習の総仕上げであり、達成目標とも言うべきものなのです。外国語の習得も含めて、「文」を読み、そして「文」を練り上げ、伝える能力を錬磨しておくことは、卒業ののち、みなさんがどのような境遇の中で生きていくときにも必ず力になるでしょう。

いろいろと書き連ねてきましたが、私たちがみなさんに対してもっとも望んでいるのは、徹底的に調べ、考えていく学問のたのしさ、おもしろさをまずは知って欲しいということです。それは決して平坦な道ではないかもしれませんが、学問のおもしろさにのめり込み、その成果を卒業論文として書き上げたあとには、必ず確かな充実感と満足—そして自分自身の成長—が得られるでしょう。千葉大学文学部へようこそ。いつか振り返ってみたときに、千葉大学で過ごしたみなさんの日々が、実り豊かで輝かしい時として記憶されていますように。

文学部長

山田 賢

# 目 次

## 文学部へようこそ

### I 履修の仕方

1. 履修の心得	3
2. 履修の仕組み	3
3. 普遍教育科目の履修	4
4. 専門教育科目の履修	6
5. 卒業論文	7
6. 自由選択	7
7. 千葉大学履修証明（サーティフィケート）プログラム	7
8. 教育学部開講の教職関連科目について	8
9. 特別な単位の認定	8
10. 外国人留学生の履修	9
11. 先進科学プログラム人間探求コースの履修	10
12. 履修科目登録	10
13. 単位上限制	11
14. GPA（Grade Point Average）について	12
15. 単位認定	12
16. 成績に関する問い合わせ	12
17. 早期卒業制度	13
18. 卒業認定	13
19. 授業の公欠に関する扱いについて	14
20. 千葉大学「Webメールシステム」「通知板システム」について	15
21. 「試験・補講期間」における授業重複について	15
22. 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について	15

### II 科目一覧

1. 文学部科目一覧	17
行動科学科	17
史学科	20
日本文化学科	22
国際言語文化学科	24
文学部共通科目一覧	26
留学生科目一覧	26
司書資格取得に関する授業科目	26
他学科開講指定文学部共通科目一覧	27
2. 履修に関する注意事項，科目の「読み替え」について	28

### III 各種資格の取得

1. 教育職員免許状の取得について	29
2. 学芸員資格の取得について	40
3. 司書資格の取得について	41
4. 日本語教育コースについて	44

### IV その他

1. 文学部教員名簿	45
2. 時間割・教室割表	48
3. 事務手続きについて	60
4. 案内図	巻末折込

V 他学部履修許可願	巻末綴込
履修登録用紙	巻末綴込

2015年度（平成27年度）文学部カレンダー	表表紙裏
2015年度（平成27年度）文学部学年暦	裏表紙裏

# I 履修の仕方

## 1. 履修の心得

文学部に所属する学生は、「千葉大学学則」「千葉大学普遍教育等履修細則」「千葉大学文学部規程」そして入学年度の「文学部履修案内」にしたがって履修することになります。

まず、文学部での履修について、もっとも基本的な次のことを心得ておいてください。

1) 1学年 (academic year) は、前期セメスター (semester 4月～9月) と後期セメスター (semester 10月～3月) の2学期制です。

2) 授業は、次のような時間割で組まれています。

1時限 8:50～10:20

2時限 10:30～12:00

3時限 12:50～14:20

4時限 14:30～16:00

5時限 16:10～17:40

各時限の授業は90分間ですが、1回につき2時間の授業を受けたものとされます。

3) 文学部で開講される専門科目は、セメスターごとに講義・演習は15回 (30時間) で2単位、実験・実習は15回 (30時間) で1単位が与えられます。

4) 文学部で開講される授業科目はセメスターごとに単位が認定されますが、授業科目によっては、同一セメスターに2つ以上の授業科目をセットで受講すること、同一年度に前期・後期を連続して受講することが求められるものがあります。

5) 単位修得の試験に関しては以下の「規則」が適用されます。

- a. 試験の際は、学生証を必ず机上におくこと。
- b. 試験開始後30分以上遅刻したものは、原則として受験できない。
- c. 試験開始後30分経過しなければ、退出はできない。
- d. 試験中に不正行為、あるいはそれとまぎらわしい行為をしてはいけません。

不正行為があった場合は、学則の定めるところにより懲戒処分の対象となる。

6) 履修に関する質問は、各学科教務委員の先生に問い合わせてください。教務委員の先生は毎年変わります。どの先生が教務委員なのかについては、文学部掲示板で確認してください。

## 2. 履修の仕組み

1) 文学部を卒業するのに必要な単位 (卒業要件) は、次のように合計124単位 (先進科学プログラム人間探求コースのみ合計140単位) と定められています (表1参照)。ただし、これは最低の要件であり、それぞれの必要単位を超えて履修することを妨げるものではありません。各自の関心と必要に応じて積極的に学習してください。

(表1)

学 科 名	普 遍 教 育 科 目						専 門 教 育 科 目				卒 業 論 文	自 由 選 択	卒 業 単 位 数	
	英 語 科 目	初 修 外 国 語 科 目	情 報 リ テ ラ シ ー 科 目	ス ポー ツ ・ 健 康 科 目	教 養 コア 科 目	教 養 展 開 科 目	計	文 学 部 共 通 科 目	専 門 基 礎 科 目	専 門 科 目				計
行 動 科 学 科	4~8 (6~10)	0~4	2	1~2	6	6~9	26 (28)	8~16	18 (30)	44~52 (46~54)	78 (92)	8	12	124 (140)
	8~10 (10~12)					<12~15>								
史 学 科	4~8	0~4	2	1~2	6	6~9	26	8~16	30	36~44	82	8	8	124
	8~10					<12~15>								
日 本 文 化 学 科	4~8	0~4	2	1~2	6	6~9	26	8~16	26	36~44	78	8	12	124
	8~10					<12~15>								
国 際 言 語 文 化 学 科	4~8	0~4	2	1~2	6	6~9	26	8~16	30	36~44	82	8	8	124
	8~10					<12~15>								

備考 ( ) は先進科学プログラム (人間探求コース) を履修する学生の場合を示す。  
< > は3年次編入学生の場合を示す。

## 2) 諸注意

- a. 本学部に入學する前に他の大学等で修得した単位、あるいは入學後に海外の協定大学等で修得した単位については、審査の上、合わせて60単位まで卒業要件に認定されます(9.参照)。
- b. 外国人留學生の卒業要件も基本的には同様です。違いについては10.で説明します。
- c. 先進科学プログラム人間探求コースの履修については、11.で説明します。
- d. 3年次編入學生は、教養コア科目または教養展開科目から計12~15単位を履修してください。
- e. 科目の履修については年次が指定されています。当該年次で単位を修得しなかった場合はそれ以降に履修することもできますが、学習上必要な情報が含まれていますので、特に「必修科目」は指定年次に履修して下さい。
- f. それぞれの科目は1度しか単位として認定されません。ただし、科目名に「a, b…」がついている場合は、それぞれ別の科目とします。
- g. 本学部では、単位上制限を導入しています。詳細について13.で説明します。

## 3. 普遍教育科目の履修

文学部の學生は、各学科での専門教育科目を履修することによって専門分野の学習を深めることが求められるのは当然ですが、同時に自己の専門をより広い学問世界の中に位置づけるために、全学で運営される普遍教育科目を履修することになっています。

普遍教育に関する履修の詳細については『Guidance 2015』を参照してください。

文学部の學生は、卒業までに普遍教育科目26単位を修得しなければなりません(表1参照)。

普遍教育科目は以下のように構成されています。

## 1) 英語科目

## 2) 初修外国語科目

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・イタリア語・朝鮮語（韓国語）・ロシア語が開講されています。積極的に履修してください。

## 3) 情報リテラシー科目

コンピュータ・ネットワークの原理と倫理を学ぶとともに、情報処理の実習を行います。

## 4) スポーツ・健康科目

## 5) 教養コア科目

複数分野の導入的な知識と学問観を修得するとともに、それを通して学問そのものへの興味・関心を喚起することを目的とした科目で、以下の6群に分けられます。

- ①論理コア（倫理・哲学・社会） ②生命コア（生命・心理・発達） ③文化コア（文化・芸術・歴史）  
④環境コア（環境・生活・科学） ⑤国際コア（国際社会と日本） ⑥地域コア（地域と暮らし）

各科目群で開講される科目のうち1科目を選択し、全科目群で1科目ずつ、合計6科目6単位を履修します。1科目は1単位（半セメスター）です。

## 6) 教養展開科目

教養コア科目の履修を通して喚起された学問への興味・関心を拡大、深化させ、豊かな教養へと結びつける科目です。自らの関心に応じて選択します。教育職員免許状、学芸員資格、司書資格などを取得するのに必要な科目の一部も開設されています。

## その他

### a) 学部開放科目

文学部および各学部で開講している科目の中で普遍教育のために「学部開放科目」とされているものは「教養展開科目」の単位として認定されます。ただし、所属学科の「学部開放科目」は専門教育科目となるので、教養展開科目とは認定されません。

### b) 放送大学の開講科目

放送大学で開設されている授業科目で本学の指定した科目を普遍教育科目として履修することができます。受講には放送大学の規則による手続きと費用が必要です。

詳細は『Guidance 2015』を参照してください。

### c) 千葉圏域コンソーシアム（神田外語大学・敬愛大学・城西国際大学）

本学は、神田外語大学・敬愛大学・城西国際大学との間で「千葉圏域コンソーシアム」を形成し、単位互換協定書を取り交わしています。各大学の開放科目について、「特別聴講学生」となって単位を修

得すれば、普遍教育科目等の単位として認定されます。

履修希望は、普遍教育ホームページ (<http://www.fuhen-chiba-u.jp/>) または、普遍教育担当窓口にて募集要項等を確認し、手続きを行ってください。出願期間・方法については、大学によって異なります。

#### 4. 専門教育科目の履修

専門教育は、文学部学生の学習の中心となるものです。千葉大学文学部は他の学部、さらには他大学の文学部と比較しても非常に多彩な授業科目を開設しています。そのため、学生は自分の関心に応じた、かなり自由な授業選択が可能となっていますが、同時に文学部では、学部教育は特定の専門分野に限らず、幅広く人文科学に関わる基礎的な知識を学ぶ機会でもありと考え、カリキュラムに「文学部共通科目」を設けて履修を求めています。

文学部の学生は卒業までに各学科で定められた専門教育科目（行動科学科・日本文化学科は計78単位、史学科・国際言語文化学科は計82単位）および卒業論文8単位を修得しなければなりません。

専門教育科目は、学科によって卒業要件が異なっています（表2参照）。

なお、先進科学プログラム人間探求コースの卒業要件については、別に定められています（11.参照）。

（表2）

	専 門 教 育 科 目				計
	文学部共通科目	専門基礎科目	専 門 科 目		
			講 義 科 目	演 習 ・ 実 習 科 目	
行 動 科 学 科	8～16	18	24～32	20	78
史 学 科	8～16	30	区分無しで 36～44		82
日 本 文 化 学 科	8～16	26	区分無しで 36～44		78
国 際 言 語 文 化 学 科	8～16	30	20～28	16	82

##### 1) 文学部共通科目

文学部の学生は、文学部共通科目を8～16単位履修しなければなりません。文学部共通科目の中の〈人文科学の現在1～10〉は、特定のテーマのもとに人文科学の先端的な課題を扱うプロジェクト型科目として設定されています。文学部では、このプロジェクト型科目を4単位以上履修することを推奨しています。

##### 2) 専門基礎科目

専門基礎科目には、各学科ごとに履修年次指定のある（選択）必修科目が含まれており、（選択必修の場合は選択の上）必ず履修しなければなりません。講座やコースなどへの「振り分け」を行う学科では、講座やコースなどが強く推奨するカリキュラム・科目があります。3年次編入生には個別に指導します。

### 3) 専門科目

専門科目は授業の形態や内容によって以下の2群に分けられます。

#### 講義科目

それぞれの専門分野の概説や、専門的な領域についての講義

#### 演習・実習科目

学生の主体的な参加による資料の分析や討論、調査や実験を行う科目

## 5. 卒業論文

- 1) 卒業論文は、1月12日17時まで（時間厳守）に、学部学務グループ窓口へ提出して下さい。ただし、1月12日が土・日・月曜日にあたる場合には、「成人の日」の翌日の火曜日17時を提出期限とします。
- 2) 卒業論文を提出する際には、あらかじめ「卒業論文題目届」の用紙を学部学務グループから受け取り、卒業論文1部に添えて提出して下さい。
- 3) 前期卒業を予定している人は、掲示に注意し、学部学務グループに確認して下さい。
- 4) 早期卒業制度の認定を希望する人は、17.早期卒業制度についてを確認して下さい。

## 6. 自由選択

原則として千葉大学で開講されているすべての科目について、修得した単位を自由選択として算入することができます。ただし、他の科目区分で認定された単位を自由選択の区分に移すためには、科目区分変更手続きが必要です。手続きは4年次に受付けます。申請期間及び方法等については、掲示によりお知らせします。

## 7. 千葉大学履修証明（サーティフィケート）プログラム

千葉大学では、「グローバル」「ローカル」の双方にちなんだ勉強・経験の機会を幅広く提供しています。特に、以下のプログラムについては、規程の単位を修得することで履修証明書（サーティフィケート）が交付されます。普遍教育科目や文学部の専門教育科目としても重複して認定できる科目も多くありますので、積極的に履修してください。

### 1) 国際日本学

グローバル人材として活躍するために必要な知識や技能、経験の修得を目的とするプログラムで、「講義型」、「セミナー・プロジェクト型」、「イングリッシュコミュニケーション」、「留学」、及び「国際体験」の科目により構成されています。

詳細・問い合わせ先

<http://skipwise-chiba-u.jp/>

教育企画課 グローバル・リソース 043-290-3782 skipwise-info@chiba-u.jp

## 2) コミュニティ再生ケア学

地域・コミュニティに関する幅広い教養と、地域再生の知識、実践力を備え、NPO、企業、自治体などそれぞれの立場で地域再生のために活躍できる能力を身につけるためのプログラムです。

詳細・問い合わせ先

<http://www.coc.chiba-u.jp>

## 8. 教育学部開講の教職関連科目について

教員免許状の取得に関する教職に関する科目や教科教育法の科目は、教育学部が開講しています。文学部生は「他学部用」の授業が開講されているものについて受講することができます。他学部学生用授業一覧は、文学部棟1階の教職関係掲示板で確認してください。

また、教職免許状の取得については、Ⅲ-1. 教育職員免許状の取得についてを参照してください。

## 9. 特別な単位の認定

### 1) 本学部入学以前に他大学等で修得した単位（既修得単位）の認定

既修得単位は学生から提出された既修得単位認定申請書を審査の上、下記2)の単位とあわせて60単位まで卒業要件単位として認定されます。

### 2) 外国の大学で修得した単位の認定

千葉大学の派遣留学制度に基づき千葉大学が交流協定を結んでいる外国の大学へ留学した場合、留学中に修得した単位は、学生が提出した単位認定申請書を審査のうえ、上記1)の単位とあわせて60単位まで卒業要件単位として認定されます。

学部に対応する既存の授業科目がない場合でも、「派遣留学認定科目」として8単位まで認定されます。

\*以上の特別な単位認定に関する申請の手続き等については、学部学務グループにお問い合わせください。

## 10. 外国人留学生の履修

文学部の外国人留学生の卒業要件は、基本的には他の学部学生と変わりません。前記1. から9. までの説明をよく読んでください。異なる点について説明します（表4参照）。

(表4)

学 科 名	普 遍 教 育 科 目								専 門 教 育 科 目				卒 業 論 文	自 由 選 択	卒 業 単 位 数
	日 本 語 科 目	英 語 科 目	日 本 事 情 科 目	情 報 リ テ ラ シ ー 科 目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	教 養 コ ア 科 目	教 養 展 開 科 目	計	文 学 部 共 通 科 目	専 門 基 礎 科 目	専 門 科 目	計			
行 動 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	18	44~52	78	8	12	124
史 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	30	36~44	82	8	8	124
日 本 文 化 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	26	36~44	78	8	12	124
国 際 言 語 文 化 学 科	4~6 8	2~4	4	2	1~2	6	4~5	26	8~16	30	36~44	82	8	8	124

※ 英語を母語・母国語とする人は、英語以外の外国語から履修すること。

### 1) 普遍教育科目について

- a. 外国語科目のうち、日本語科目として、「日本語6\*\*」、「日本語7\*\*」及び「日本語8\*\*」（\*には数字が入る）から4~6単位を、英語科目は2~4単位（英語を母語・母国語とする者は、英語以外の外国語）を履修しなければなりません。
- b. ただし、日本留学試験の成績が一定の点数以上の学生は、日本語の必修単位のうち2単位を指定の科目（「日本語の文法」、「隣人を知る」、「日本語の特徴」、「日本語の諸相」）のひとつで振り替えることができます。
- c. 普遍科目として、「日本事情1~10」から4単位を履修しなければなりません。この科目は教養展開科目（国際性を高める）のカテゴリーにも入っていますが、必修単位数までは「日本事情科目」で登録してください。4単位を越える分については、教養コア科目、教養展開科目のいずれかに振り替えることができます。

### 2) 専門教育科目について

留学生向けに開講される「日本を学ぶa, b」「日本研究入門a, b, c」を、合わせて8単位までを限度として履修できます。これらは所属学科を問わず、専門教育科目（文学部共通科目、ないし専門科目（「講義科目」「演習・実習科目」）として認定されます。

## 11. 先進科学プログラム人間探求コースの履修

文学部では、理学部・工学部と連携して、高い理数系の能力を持つ学生を早期に入学させ、人間性の科学的理解に関する学習を推進させるための「人間探求コース」を実施しています。

先進科学プログラム人間探求コースの学生は、基本的には文学部行動科学科の学生として扱われますが、科目履修に関しては次の表5及び表6-2を参照して下さい。その他の事項については、先進科学プログラムの履修案内を参照して下さい。

(表5)

普通教育科目						専門教育科目				自 由 選 択	卒 業 論 文	卒 業 単 位
英 語 科 目	初 修 外 国 語 科 目	情 報 リ テ ラ シー 科 目	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 目	教 養 コ ア 科 目	教 養 展 開 科 目	専 門 基 礎 科 目	専門科目		学 部 共 通 科 目			
							講 義 科 目	実 習 ・ 演 習 科 目				
6~10	0~4	2	1~2	6	6~9	30	22~30	24	8~16	12	8	140
累計	10~12											
累計 28						累計 92						

## 12. 履修科目登録

千葉大学では、Webページによる履修登録を行っています [下記6) の場合を除く]。

- 履修する科目の登録は、年度の始まりに、前期セメスター、後期セメスターのすべてについて行います。別途指定された登録日時（裏表紙裏「2015年度（平成27年度）文学部学年暦」参照）までに手続きを完了してください。なお、後期セメスターの初めにも、追加・変更登録を行うことができます。
- 履修登録の詳細については、『履修登録・成績入力システム操作マニュアル』を参照してください。

URLは<http://registration.ss.chiba-u.jp/>です。このURLには、大学内のネットワークに接続されたコンピュータからのみアクセスできます。なお、WEB履修登録の際、システム上の理由により、登録された授業科目の科目区分が適正とは限らないことがあります。履修登録の際は、科目区分が間違っていないか、「文学部履修案内」等を参照しながら行ってください。WEB履修登録した授業科目の科目区分について疑問がある場合には、早急に学務グループにお問い合わせください。（登録内容の適正性の判定は、あくまでも「文学部履修案内」等に記載されている履修基準によります。）

また、文学部のシラバスはWEBで公開されています。（<http://www.chiba-u.ac.jp/student/syllabus/>）

- 履修登録が完了したら、画面上で履修登録内容の確認を行い、さらに「履修科目登録確認表」（時間割）をプリントアウト若しくはPDFダウンロードしてください。この「履修科目登録確認表」には履修登録した科目や単位集計表の内容が記載されますので、各自で大切に保存してください。
- 履修登録をしていない授業科目については、原則として単位を修得することができません。

- 5) 履修登録期間外に授業科目の登録や取消しをすることは原則としてできません。また、後期の履修登録期間において、通期科目を削除することはできません。
- 6) 「学部開放科目」や「他学部用教育学部教職科目」として指定されているもの以外の他学部開講科目を履修する場合には、巻末綴込の「他学部履修許可願」「履修登録用紙」を提出することが必要です。

### 13. 単位上限制

文学部では学生の自宅学習を含む学習活動を活性化し、同時に厳格な成績評価を実施するため、履修できる単位数に以下のとおり上限を設けています。(平成26年度までの入学者については、入学年度の履修案内に記載された上限となります。)

ただし、3年次編入学試験によって入学した者については、当該上限制度によらず履修登録を認めます。  
(表6-1)

1年次		2年次～4年次	
前期	後期	前期	後期
23～25単位	21～23単位	20単位	20単位
(合計46単位まで)			

また、先進科学プログラム人間探求コースに所属する学生については、以下の表6-2のとおり適用します。  
(表6-2)

1年次		2年次・3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
24～26単位	22～24単位	22単位	22単位	20単位	20単位
(合計48単位まで)					

なお、次に該当する授業科目は、単位上限の算定に含まないこととします。

- ・資格取得に関する科目のうち、教職に関する科目、学芸員・図書館司書に関する科目
- ・集中形式により開講される講義、演習及び実習科目

また、直前 Semester において、以下の条件を満たす場合には、原則として上記上限単位を各 Semester 6 単位まで超過して履修登録することを認めます。

- ・登録上限単位数の95%以上の単位を登録し、かつ GPA が3.0以上であること
- ・先進科学プログラム人間探求コースに所属する学生については、以下のすべてを満たす場合
  - ①履修登録が認められた単位数の上限、又はその上限から1単位減じた単位数の卒業要件科目を履修登録していること
  - ②履修登録した卒業要件科目の単位(前期においては通期開講科目の単位を除く)をすべて修得し、かつ、その Semester の GPA が3.00以上であること

その他特段の事情により上限単位以上の履修を希望する場合には、学務グループへ相談してください。

## 14. GPA (Grade Point Average) について

千葉大学では、学習到達度をはかる指標としてGPAを算出しており、文学部においては2007年度入学生より成績通知表に記載しています。

GPAは次のように算出されます。

$$\frac{(4.0 \times \text{秀の修得単位数} + 3.0 \times \text{優の修得単位数} + 2.0 \times \text{良の修得単位数} + 1.0 \times \text{可の修得単位数})}{\text{総履修登録単位数 (「不可」の単位数を含む)}}$$

ただし、他大学で修得した単位互換科目、認定科目、および卒業要件とならない科目は、GPAの算出には含まれません。

履修登録したにもかかわらず途中で履修をやめた授業科目の登録を削除せずにおくと、「不可」と同じ扱いとなり、GPAにも影響します。履修をやめる場合には、履修登録取消期間内に、必ず科目の削除を行ってください。

## 15. 単位認定

- 1) 単位の認定は、「Ⅺ 科目登録」に示された所定の要領に従ってあらかじめ登録した科目についてのみ、受けることができます。
- 2) 同一名称の授業科目は1度しか単位として認定されません。ただし、科目名に「a, b…」がついている場合は、それぞれ別の授業科目とします。
- 3) 試験、レポート、平素の学習状況、論文等による審査に合格したものに対して、所定の単位が与えられます。
- 4) 単位を修得するには、当該授業科目の授業回数の5分の4以上の出席を必要とします。
- 5) 本学部に入学前に他大学等で修得した単位、あるいは入学後に海外の協定大学等に留学して修得した単位については、学生からの単位認定申請書を審査のうえ、合計60単位を限度として文学部の卒業要件単位として認定します（9. 特別な単位の認定を参照してください）。

## 16. 成績に関する問い合わせ

履修した科目の成績は、原則として学期ごとに通知されます。通知された成績に疑義がある場合には、当該授業を履修した学期直後の指定された期間に、問い合わせをすることができます。問い合わせ期間については、文学部掲示板でお知らせします。問い合わせ申請書は指定様式がありますので、学務グループ窓口で受け取ってください。

## 17. 早期卒業制度

文学部では、平成27年度入学者より、成績が特に優れた者を対象とする早期卒業制度を導入しました。早期卒業制度の適用を申請するためには、所定の期日までに申請書を提出する必要がありますので、申請を希望する場合には学務グループへ問い合わせてください。

なお、申請にあたっては、以下に掲げる要件をすべて満たしていることが必要です。

- (1) 2年次終了時までに卒業に必要な単位として84単位以上を修得していること  
(先進科学プログラム人間探求コースに所属する学生については98単位以上)
- (2) 2年次終了時までの通算GPAが3.0以上であること
- (3) 学習意欲、学習計画が十分明確であり、所属学科長から推薦を得られること

また、早期卒業の認定を受けるためには、以下のすべての条件を満たすことが必要です。

- (1) 文学部に3年以上在学していること
- (2) 卒業要件単位をすべて修得していること
- (3) 早期卒業認定時までの通算GPAが3.0以上であること
- (4) 早期卒業制度申請者に対して実施される総合学力評価試験等によって、学力が優秀であると認定されること

## 18. 卒業認定

本学に4年以上（3年次編入学生については2年以上、早期卒業認定者については3年以上）在学し、卒業要件単位を修得し卒業研究を終了したことが認められた者には、学士（文学）の学位を授与します。

なお、早期卒業制度の認定を希望する人は、所定の期日までに申請する必要があります（17. 早期卒業制度参照）。

## 19. 授業の公欠に関する扱いについて

このことについて、下記の表に記載されている事由に該当する場合は、公欠が認められます。公欠を申請したい場合は、以下の要領で手続をしてください。

- ① 学務グループの窓口「公欠届」があります。公欠の取扱いを希望する授業の担当教員数分の「公欠届」に必要事項を記載してください。
- ② 「公欠届」には、学務グループの確認印が必要となります。下表で指定されている添付書類を添えて、窓口にて検印を受けてください。検印のない「公欠届」は無効となります。
- ③ 下表で指定されている「届の提出時期」までに、授業担当教員に書類を提出してください。

### 公欠事由別一覧

区分	公欠事由	公欠期間	添付書類	届の提出時期
第一号	忌引き（二親等以内）の場合	一親等（父母等）及び配偶者：連続した7日間以内 二親等（祖父母・兄弟姉妹等）：連続した3日間以内	「会葬礼状」等	出席可能となった後一週間以内
第二号	学校保健法施行規則第18条に規定する伝染病（※）に罹患した場合、又は感染したおそれがある場合	診断書等に記入されている出席停止期間（2か月を超えた場合を除く。）	・医療機関発行の「診断書」又は「治癒証明書」 ・総合安全衛生管理機構発行の証明書等 ・総合安全衛生管理機構の証明印がある学生保険互助会給付金証明書の写	出席可能となった後一週間以内
第三号	教育実習・介護等体験等のうち当該学生の所属する学部教育委員会等の長が必要と認めた場合	実習等に参加する期間		事前又は出席可能となった後一週間以内
第四号	課外活動において、関東甲信越大学体育大会、東日本医学生体育大会等又は全国大会以上の大会に出場する場合	大会に出場する期間	実施要項、パンフレット等	事前又は出席可能となった後一週間以内

※学校保健法施行規則第18条に規定する伝染病

- ・第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）及び鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであって、その血清型がH5N1であるものに限る。）
- ・第二種 インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く。）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風疹、水痘、咽頭結膜熱（プール熱）、結核
- ・第三種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の伝染病
- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条第7項から第9項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症

（注）上記の伝染病に罹患してしまった場合は、速やかに学務グループ（TEL：043-290-2352）へ連絡し、指示を仰いでください。

## 20. 千葉大学「Webメールシステム」「通知板システム」について

### 1) 「Webメールシステム」について

Webメールシステム ([https://cuacmsrv.chiba-u.jp/am\\_bin/amlogin](https://cuacmsrv.chiba-u.jp/am_bin/amlogin)) とは、千葉大学統合情報センターが学生に提供しているWEBメールシステムです。入学に際し、学生1人につき1つのメールアドレスが交付され、在学中はこのメールシステムを利用することができます。文学部では、このメールアドレスやログインに必要なパスワード等を、学生証配付時に交付しています。

なお、このメールアドレス宛てに、授業に関する情報やその他教育に関する情報が一斉配信されることもありますので、受信状況をこまめに見るようにしてください。

### 2) 「通知板システム」について

通知板システム (<https://cubbs.chiba-u.jp>) は、学外のネットワークからもアクセス可能なWeb掲示板です。千葉大学での学生生活、施設利用、国際交流などに関する情報のほか、各学部・研究科等からのお知らせを掲載しています。



文学部では、授業に関する事（休講、教室変更等）やその他の連絡事項等を掲載していますので、上記URLまたはQRコードよりアクセスし、確認するようにしてください。

システムにログインするには、「利用者番号」が必要です。利用者番号は、教育用端末のログインに使用するものと同じです。不明な場合には、統合情報センターのサイト (<https://cuweb.imit.chiba-u.jp/checkuid.html>) で確認できます。

通知板システムには、できる限り多くのお知らせを掲載するようにしていますが、全ての情報を掲載しているわけではありませんので、必ず、文学部棟1階の掲示板をあわせて確認してください。

## 21. 「試験・補講期間」における授業重複について

「試験・補講期間」（「文学部カレンダー」（表紙裏）参照）において、補講授業・試験どうしが重複し、その結果、いずれか一方の授業への出席が難しくなった場合は、その事実が判明し次第、至急文学部学務グループの窓口へ相談してください。

## 22. 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う授業の措置について

自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴う「臨時休講」の取扱いについて、西千葉キャンパスにおいては、以下のとおり対応いたします。

- 1) 自然災害・事故及び交通機関のストライキ等に伴い、西千葉駅及びみどり台駅を運行する全線の列車が運行停止となった場合。
  - ① 午前6時30分までに運行しない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
  - ② 午前10時までに運行しない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
  - ③ 正午までに運行しない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。

2) 台風等により、気象庁から西千葉キャンパスの所在地域に「暴風警報」(以下「警報」という。)が発令された場合。

- ① 午前6時30分までに警報が解除されない場合は、第1及び第2時限の授業を臨時休講とする。
- ② 午前10時までに警報が解除されない場合は、第3、第4及び第5時限の授業を臨時休講とする。
- ③ 正午までに警報が解除されない場合は、第6及び第7時限の授業を臨時休講とする。
- ④ 授業の開始後、警報が発令された場合は、当日のその後に開始する授業を臨時休講とする。

3) 西千葉駅及びみどり台駅を運行する全線の列車が運行停止とはなっていないが、台風の接近等により運行停止が見込まれる場合、又はその他の事由により通学及び帰宅が困難と判断される場合。各部局の状況等を勘案し、教育担当理事がキャンパスごとに決定する。

4) 部局の事情により、上記1～3の取扱いにより難い特別の事情がある場合。

当該部局長の判断により取扱いを決定することができる。

以上、「平成22年7月20日千葉大学学部教育委員会申合せ」より

上記に鑑み、千葉大学文学部において、「臨時休講」の措置を講じることになった場合、その旨を「通知板システム」(<https://cubbs.chiba-u.jp>)〈学外からでも利用可〉の休講情報掲示板にて周知します。

なお、「臨時休講」の措置を講じることになった場合、当日は電話連絡がつながりにくいことが予想されますので、電話での問い合わせは極力控えてください。

## Ⅱ 科目一覧

### 1. 文学部科目一覧

各授業科目の具体的な内容等については、WEBシラバスを参照してください。以下の表に記載されている授業科目のすべてが、毎年開講されているとは限らないので注意してください。

〈千葉大学文学部ホームページ URL: <http://www.l.chiba-u.ac.jp/>〉

#### 行動科学科

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
			1	2	3	4		
専門教育 科目 78単位	文学部共通科目 8～16単位	文学部共通科目一覧参照						
	専門基礎科目 18単位	必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修	行動科学入門 a,b 哲学基礎 認知情報科学基礎 心理学基礎 社会学基礎 文化人類学基礎 卒業論文特別演習 a,b	*	*	*	*	
専門科目 44～52単位	講義科目 24～32単位		論理学の哲学 a,b 価値論 a,b 科学基礎論 a,b 技術論 a,b 科学史 a,b 東洋哲学概説 a,b 西洋古代中世哲学 a,b,c,d 西洋近世近代哲学 a,b,c,d 現代哲学 a,b,c,d 倫理思想史 a,b,c,d 現代哲学講読 a,b,c,d 知識論講読 a,b,c 行為論講読 a,b,c 文化論講読 a,b,c 東洋哲学講読 a,b,c,d 人文情報学概論 記号論理学 a,b 情報科学基礎論 a,b 神経情報処理基礎論 a,b 認知行動基礎論 a,b 一夕解析基礎論 a,b 比較認知論 a,b 言語情報処理論 a,b 知的情報処理論 a,b,c,d 意志決定論 a,b 心理言語学 a,b 動物心理学 a,b 認知尺度構成論 a,b 生理学 心理学研究法 a,b 覚醒心理学 a,b 認知心理学 a,b 人格心理学 a,b 社会心理学 a,b 発達心理学 臨床心理学 視覚認知	*	*	*	*	

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次 1 2 3 4	履修要件	備考
		高次認知論 a,b	* * *		教育学部開講 「西千葉地区 共通化科目」
		対人行動論	* * *		
		児童心理学	* * *		
		学級の社会心理学	* * *		
		学習過程の心理学	* * *		
		子ども的人格発達	* * *		
		社会学概説 a,b	* * *		
		理論社会学 a,b	* * *		
		家族社会学 a,b	* * *		
		産業社会学 a,b	* * *		
		環境社会学 a,b	* * *		
		地域社会学 a,b	* * *		
		国際社会学 a,b	* * *		
		文化社会学 a,b	* * *		
		メディア社会学 a,b	* * *		
		コミュニケーション社会学 a,b	* * *		
		ジェンダーの社会学 a,b	* * *		
		社会問題の社会学 a,b	* * *		
		生活史の社会学 a,b	* * *		
		応用社会学 a,b	* * *		
		医療と福祉の社会学 a,b	* * *		
		文化人類学概説 a,b	* * *		
		生物人類学概説 a,b	* * *		
		地域文化論 a,b,c,d	* * *		
		民族誌 a,b,c,d	* * *		
		文化変容論	* * *		
		開発人類学 a,b	* * *		
		医療人類学 a,b	* * *		
		宗教人類学	* * *		
		生態人類学 a,b	* * *		
		政治人類学	* * *		
		経済人類学	* * *		
		性の人類学 a,b	* * *		
		映像人類学 a,b	* * *		
		芸能人類学	* * *		
		ユーラシア文化論 a,b,c,d	* * *		
		内陸アジア文化論 a,b,c,d	* * *		
		派遣留学認定科目 1,2,3,4	* * * *		
	演習・実習科目 20単位	哲学基礎演習(読解) a,b	*		日本文化開講 日本文化開講
		哲学基礎演習(作文) a,b	*		
		古代中世哲学演習 a,b,c,d	* * *		
		近世近代哲学演習 a,b,c,d	* * *		
		現代哲学演習 a,b,c,d	* * *		
		倫理学演習 a,b,c,d	* * *		
		科学基礎論演習 a,b,c,d	* * *		
		科学史演習 a,b,c,d	* * *		
		東洋哲学演習 a,b,c,d	* * *		
		認知情報科学基礎演習 a,b	*		
		比較認知行動論演習 a,b	* *		
		多様性認知論演習 a,b	* *		
		言語認知情報学演習 a,b	* *		
		認知情報解析学演習 a,b	* *		
		知識情報科学演習 a,b	* *		
		認知情報科学基礎実習 a,b	*		

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
			1	2	3	4		
		認知情報科学発展実習 a,b			*		同基礎実習	
		認知情報科学特別実習 a,b				*	同発展実習	
		心理学初級実験 a,b		*				
		心理学中級実験 a,b			*		同初級実験	
		心理学上級実験 a,b				*	同中級実験	
		心理学基礎演習 a,b		*				
		知覚心理学演習 a,b,c,d		*	*			
		認知心理学演習 a,b,c,d		*	*			
		人格・発達心理学演習 a,b,c,d		*	*			
		社会心理学演習 a,b,c,d		*	*			
		高次認知論演習 a,b,c,d		*	*			
		社会調査概説 a,b		*				
		社会調査実習 a,b,c,d			*		同調査概説	
		社会学研究方法 a,b		*				
		社会学演習 a,b			*		同研究法	
		社会学原書講読 a,b			*			
		社会学データ分析演習 a,b			*		同調査概説	
		文化人類学調査概説 a,b		*				
		文化人類学調査実習 a,b,c,d			*		同調査概説	
		文化人類学研究方法 a,b		*				
		文化人類学演習 a,b			*		同研究法	
		生物人類学演習 a,b		*	*	*		
		文化人類学原書講読 a,b		*	*	*		
卒業論文 8単位		必修			*			

史 学 科

授業科目区分 卒業要件単位			授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
				1	2	3	4		
専門教育 科目 82単位	文学部共通科目 8～16単位		文学部共通科目一覧参照						
	専門基礎科目 30単位	必修 必修 必修	歴史学入門 a,b 歴史学基礎演習 a,b 史学方法論 a,b 世界史基礎 a,b 文化財学概説 図像情報史学概説 a,b 日本史概説 a,b 東アジア史概説 アジア史概説 a,b ヨーロッパ・アメリカ史概説 a,b 文化財学基礎演習 a,b 図像情報史学基礎演習 文書学基礎演習 a,b,c 外国語史料基礎演習 a,b,c,d 漢籍史料基礎演習 a,b 卒業論文特別演習 a,b	*	*	*	*		
専門科目 36～44単位	(講義科目)	必修	地域考古学 比較考古学 a,b 先史考古学 a,b 歴史考古学 a,b 北方先史文化論 a,b 歴史人類学 a,b 宗教文化史 図像解釈学 a,b 表象文化史 a,b 日本美術史 a,b ヨーロッパ美術史 a,b 文書館学 a,b 情報社会史 国際関係史 国際社会史 a,b 歴史社会学 a,b アジア思想史 マイノリティー史 日本古代史 a,b 日本中世史 a,b 日本近世史 a,b 日本近代史 a,b 日本現代史 a,b 東アジア地域史 a,b 東アジア近現代社会論 東南アジア地域史 a,b 南アジア地域史 イスラーム地域史 a,b 中東・北アフリカ近現代社会論 a,b 北アメリカ地域史 a,b 東ヨーロッパ地域史 a,b 西ヨーロッパ地域史 a,b 地中海地域史 a,b ヨーロッパ古代社会論 a,b ヨーロッパ中世社会論 a,b ヨーロッパ近現代社会論 a,b アジア・アフリカ植民地史論 a,b 比較社会史 a,b 家族社会学 a,b 民俗・伝承論 a,b	*	*	*	*		
									行動科学開講 日本文化開講

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
			1	2	3	4		
		日 本 思 想 論 a,b	*	*	*	*	日本文化開講 国際言語開講 教育学部開講 教育学部開講 教育学部開講	
		イ メ ー ジ 文 化 論 a,b	*	*	*	*		
		地 域 文 化 形 成 史 論 I,II	*	*	*	*		
		日 本 の 歴 史	*	*	*	*		
		西 洋 史 特 講 I,II	*	*	*	*		
		派 遣 留 学 認 定 科 目 1,2,3,4	*	*	*	*		
	(演習・実習科目)	文 化 財 学 実 習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*	資格科目	
		考 古 学 演 習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		考 古 学 実 習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*		
		先 史 考 古 学 演 習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		博 物 館 学 実 習 a,b,c			*	*		
		宗 教 文 化 史 演 習 a,b		*	*	*		
		図 像 解 釈 学 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		日 本 美 術 史 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		ヨ ー ロ ッ パ 美 術 史 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		中 世 記 録 史 料 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		近 世 記 録 史 料 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		近 代 記 録 史 料 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		古 文 書 実 習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*		
		文 書 学 実 習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*		
		歴 史 情 報 論 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		国 際 関 係 史 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		歴 史 社 会 学 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		東 南 ア ジ ア 社 会 論 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		ア ジ ア 思 想 史 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		マ イ ノ リ テ ィ ー 史 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		比 較 ジ ェ ン ダ ー 史 演 習 a,b		*	*	*		
		中 東 史 史 料 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		東 ア ジ ア 古 典 語 史 料 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		朝 鮮 語 史 料 演 習 a,b,c,d		*	*	*		
		日 本 史 史 料 調 査 実 習 I,II,III	*	*	*	*	教育学部開講	
卒業論文 8単位	必修					*		



授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
			1	2	3	4		
		中世文化論演習 a,b	*	*	*	*	資格科目  日文、国際共通開講	
		近世文化論演習 a,b	*	*	*	*		
		古代文学論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		中世文学論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		近世文学論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		近代文学論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		現代文学論演習 a,b	*	*	*	*		
		中国文学演習 a,b	*	*	*	*		
		古代日本語演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		近代日本語演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		現代日本語演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		日本地域言語学音韻論演習 a,b	*	*	*	*		
		日本地域言語学形態論演習 a,b	*	*	*	*		
		日本語教育方法論演習 a,b	*	*	*	*		
		多言語多文化接触論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		日本語授業演習 a,b		*	*	*		
		日本文法演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		言語学基礎演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		言語体系論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		言語機能論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		アイヌ語学演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		アイヌ文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		中国・朝鮮言語文化論演習 a,b	*	*	*	*		
		アイヌ語 a,b	*	*	*	*		
		フィールド調査法演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		内陸アジア文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ユーラシア言語文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ユーラシア言語類型論演習 a,b	*	*	*	*		
		ユーラシア言語接触論演習 a,b	*	*	*	*		
		ユーラシア民族文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		ユーラシア文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*		
		漢籍史料基礎演習 a,b	*	*	*	*		
卒業論文 8単位	必修			*				史学科開講

国際言語文化学科

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考
			1	2	3	4		
専門教育 科目 82単位	文学部共通科目 8～16単位	文学部共通科目一覧参照						
	専門基礎科目 30単位	必修	国際言語文化学入門 a,b	*				
			英 書 講 読 a,b,c,d	*	*	*	*	
			独 語 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*	
			仏 語 a,b,c,d	*	*	*	*	
			露 語 a,b,c,d	*	*	*	*	
			西 語 a,b,c,d	*	*	*	*	
			英 会 話 I a,b	*	*	*	*	
			英 会 話 II a,b		*	*	*	
			独 会 話 a,b,c,d	*	*	*	*	
			仏 会 話 a,b,c,d	*	*	*	*	
			西 会 話 a,b,c,d	*	*	*	*	
			ロ シ ア 語 会 話 a,b,c,d	*	*	*	*	
			英 作 文 I a,b	*	*	*	*	
			英 作 文 II a,b		*	*	*	
			独 作 文 a,b,c,d	*	*	*	*	
			仏 作 文 a,b,c,d	*	*	*	*	
			ド イ ツ 語 演 習 a,b,c,d	*	*	*	*	
			フ ラ ン ス 語 演 習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*	
			ロ シ ア 語 演 習 a,b,c,d	*	*	*	*	
			西 洋 近 代 語 演 習 a,b,c,d	*	*	*	*	
			ラ テ ン 語 演 習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*	
			古 代 ギ リ シ ア 語 演 習 a,b,c,d,e,f	*	*	*	*	
		必修	論 文 作 成 演 習				*	
		必修	卒 業 論 文 特 別 演 習 a,b				*	
専門科目 36～44単位	講義科目 20～28単位		比 較 文 化 概 説 a,b	*	*	*	*	日文、国際共通講
			比 較 文 化 交 流 論		*	*	*	
			比 較 文 学 概 説 a,b	*	*	*	*	
			多 言 語 多 文 化 接 触 論 a,b		*	*	*	
			複 合 文 化 論 a,b	*	*	*	*	
			イ メ ー ジ 文 化 論 a,b		*	*	*	
			ス ラ ヴ 文 化 論 a,b		*	*	*	
			東 ア ジ ア 文 化 論 a,b		*	*	*	
			比 較 文 明 論 a,b		*	*	*	
			比 較 宗 教 思 想 論 a,b		*	*	*	
			ロ シ ア 文 化 論 a,b		*	*	*	
			文 学 理 論 概 説 a,b	*	*	*	*	
			演 劇 論 a,b		*	*	*	
			ヨ ー ロ ッ パ 演 劇 史 a,b		*	*	*	
			小 説 論 a,b	*	*	*	*	
			児 童 文 学 論 a,b		*	*	*	
			文 芸 思 想 論 a,b	*	*	*	*	
			言語コミュニケーション論概説 a,b	*	*	*	*	
			外 国 語 習 得 概 論		*	*	*	
			英 語 学 概 説 a,b	*	*	*	*	
			英 語 音 声 学 a,b	*	*	*	*	
			英 文 法 a,b		*	*	*	
			英 語 史 a,b		*	*	*	
			ド イ ツ 語 学 概 説 a,b	*	*	*	*	
			ド イ ツ 語 史 a,b		*	*	*	
			ロ シ ア 語 学 概 説 a,b		*	*	*	
			ス ペ イ ン 語 学 概 説 a,b		*	*	*	
			ヨ ー ロ ッ パ 文 化 論 a,b	*	*	*	*	
			英 語 圏 文 化 論 a,b	*	*	*	*	
			イ ギ リ ス 文 学 概 説 a,b	*	*	*	*	

授業科目区分 卒業要件単位		授 業 科 目	履修年次				履修要件	備考			
			1	2	3	4					
		イギリス文化論 a,b	*	*	*	*		日本文化開講 一部日本文化開講 史学科開講 史学科開講 史学科開講 史学科開講 日本文化開講			
		広域英語圏文化論 a,b	*	*	*	*					
		イギリス文学史 a,b	*	*	*	*					
		アメリカ現代文化論 a,b	*	*	*	*					
		アメリカ小説論 a,b	*	*	*	*					
		アメリカ文化論 a,b	*	*	*	*					
		アメリカ文学史 a,b	*	*	*	*					
		現代ドイツ事情 a,b	*	*	*	*					
		ドイツ語圏文化論 a,b	*	*	*	*					
		ドイツ文学史 a,b	*	*	*	*					
		フランス文化論 a,b	*	*	*	*					
		フランス文学史 a,b	*	*	*	*					
		スペイン文学史 a,b	*	*	*	*					
		言語学概説 a,b	*	*	*	*					
		社会言語学 a,b	*	*	*	*					
		図像解釈学 a,b	*	*	*	*					
		ヨーロッパ近現代社会論 a,b	*	*	*	*					
		西ヨーロッパ地域史 a,b	*	*	*	*					
		言語体系 a,b	*	*	*	*					
		派遣留学認定科目 1,2,3,4	*	*	*	*					
		演習・実習科目 16単位		比較文化論演習 a,b,c,d	*	*			*	*	日文、国際共通開講
				比較文学論演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				多言語多文化接触論演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				複合文化論演習 a,b	*	*			*	*	
				イメージ文化論演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				文学理論演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				スラヴ文化論演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				比較宗教思想論演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				文芸思想論演習 a,b	*	*			*	*	
				生成文法理論演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				英語学演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				英語学文献講読 a,b,c,d	*	*			*	*	
				ドイツ語学演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				広域英語圏文化論演習 a,b	*	*			*	*	
				イギリス文化論演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				イギリス文学演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
				アメリカ文学演習 a,b,c,d	*	*			*	*	
		アメリカ小説論演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
		アメリカ文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
		芸術メディア論演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
		英語論文演習 a,b	*	*	*	*					
		ドイツ文化論演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
		ドイツ文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
		オーストリア文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
		フランス文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
		フランス思想演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
		フランス文化論演習 a,b	*	*	*	*					
		ロシア文学演習 a,b	*	*	*	*					
		スペイン文学演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
		スペイン文学講読 a,b	*	*	*	*					
		翻訳演習 a,b	*	*	*	*					
		西洋中世語演習 a,b,c,d	*	*	*	*					
卒業論文 8単位	必修					*					

文学部共通科目一覧

授業科目名	履修年次	単位
人文科学の現在 1	1,2,3,4	2
人文科学の現在 2	1,2,3,4	2
人文科学の現在 3	1,2,3,4	2
人文科学の現在 4	1,2,3,4	2
人文科学の現在 5	1,2,3,4	2
人文科学の現在 6	1,2,3,4	2
人文科学の現在 7	1,2,3,4	2
人文科学の現在 8	1,2,3,4	2
人文科学の現在 9	1,2,3,4	2
人文科学の現在 10	1,2,3,4	2
美学概説 a,b	2,3,4	各2
精神医学 a,b	2,3,4	各2
博覧地誌 a,b	2,3,4	各2
自然地理学 a,b	2,3,4	各2
人文地理学 a,b	2,3,4	各2
中国文学論 a,b	2,3,4	各2
大学図書館論	2,3,4	2
専門図書館論	2,3,4	2
電子図書館論	2,3,4	2
応用倫理学の基礎	1,2,3,4	2
科学技術倫理学	1,2,3,4	2
情報倫理学	1,2,3,4	2
生命倫理学	1,2,3,4	2
環境倫理学	1,2,3,4	2
経済倫理学	1,2,3,4	2
ジェンダー倫理学	1,2,3,4	2
ラテン語入門 a,b,c,d	1,2,3,4	各2
古典ギリシア語入門 a,b,c,d	1,2,3,4	各2
サンクリット語入門 a,b,c,d	1,2,3,4	各2
応用中国語 a,b	1,2,3,4	各2
現代社会で働くこと	1,2,3,4	2
人文学国際インターシップ a,b	1,2,3,4	2
人文学地域インターシップ a,b	1,2,3,4	2
人文学国際フィールドワーク a,b	1,2,3,4	2
他学科開講指定文学部共通科目 (次頁参照)		各2

留学生科目一覧

授業科目名	履修年次	単位
日本を学ぶ a,b*	1,2	各2
日本研究入門 a,b,c*	1,2	各2

※上記科目は、「専門教育科目」としても認定されます (P.9 参照)。

司書資格取得に関する授業科目

授業科目名	履修年次	単位
情報サービス論	2,3,4	2
情報サービス演習	3,4	2
情報検索演習	3,4	2
資料・情報組織論	2,3,4	2
資料・情報組織演習 a,b	3,4	各2
図書館インターシップ	3,4	2

他学科開講指定文学部共通科目一覧

所属学科以外の学科において開講される科目を履修した場合、「文学部共通科目」として認定されます。

行 動 科 学 科	哲 学 基 礎 認 知 情 報 科 学 基 礎 心 理 学 基 礎 社 会 学 基 礎 文 化 人 類 学 基 礎 価 値 論 a, b 科 学 基 礎 論 a, b 技 術 論 a, b 東 洋 哲 学 概 説 a, b 現 代 哲 学 a, b, c, d 倫 理 思 想 史 a, b, c, d 人 文 情 報 学 概 論 社 会 学 概 説 a, b 社 会 調 査 概 説 a (bは対象外)
史 学 科	文 化 財 学 概 説 図 像 情 報 史 学 概 説 a, b 日 本 史 概 説 a, b ア ジ ア 史 概 説 a, b ヨーロッパ・アメリカ史概説 a, b 東 ア ジ ア 史 概 説 文 表 象 文 化 館 学 a, b 文 化 史 a, b
日 本 文 化 学 科	日 本 文 学 史 a, b, c, d, e, f, g, h 日 伝 承 文 学 論 a, b 民 俗 文 化 論 a, b 中 世 文 化 論 a, b 近 世 文 化 論 a, b 現 代 文 学 論 a, b 日 本 語 学 概 説 a, b 日 本 語 教 育 方 法 論 a, b 日 本 語 教 育 方 法 論 演 習 a, b 日 本 語 授 業 演 習 a, b 第 二 言 語 習 得 論 a, b 異文化間コミュニケーション論 a, b 音 声 学 a, b 言 語 体 系 論 a, b 言 語 機 能 論 a, b ユーラシア言語類型論 a, b ユーラシア口承文芸論 a, b 中 国 ・ 朝 鮮 言 語 文 化 論 a, b
国 際 言 語 文 化 学 科	比 較 文 化 概 説 a, b 比 較 文 学 概 説 a, b ス ラ ヴ 文 化 論 a, b 文 学 理 論 概 説 a, b 言 語 コミュニケーション論概説 a, b ヨーロッパ文化論 a, b 英 語 圏 文 化 論 a, b ド イ ツ 語 圏 文 化 論 a, b フ ラ ン ス 文 化 論 a, b

## 2. 履修に関する注意事項、科目の「読み替え」について

文学部学生は、それぞれの入学年度の履修案内に従って履修してください。

ただし、来年度以降に新規開講される科目については、入学年度に関わりなく全学年で新規に履修できます。また、「他学科開講指定文学部共通科目」についても入学年度に関わりなく受講年度の科目指定一覧に従って履修してください。

### ※学科間共通化専門科目について

平成24年度より、専門科目として二つの学科にまたがり開講される授業科目が増加しています（本履修案内文学部規定別表2、時間割・教室割表、並びにWEBシラバスに掲載。シラバスには、「学科間共通化専門科目」のカテゴリに表示されています）。これらの科目は、登録されたいずれの学科においても専門科目として履修、修得し卒業単位として算入することができます。ただし、新規に追加された授業科目については、平成24年度以降に単位を修得する場合のみ、専門科目への算入が可能です。なお、これらの科目を履修する場合、履修要件等の具体的な内容については、授業担当者に尋ねるようにしてください。

上記措置の実施に伴い、平成23年度まで「他学科開講指定文学部共通科目一覧」に記載されていた下記の3科目が、平成24年度以降、「文学部共通科目」の卒業単位として算入できなくなります。（平成23年度までに当該科目の単位を修得している場合は、従来どおり「文学部共通科目」の単位として算入されます。）

「東アジア地域史 a, b」 「内陸アジア文化論 a, b, c, d」 「ユーラシア文化論 a, b, c, d」

（注意点）「学科間共通化専門科目」は、「文学部共通科目」（P. 26～27参照）とは別のものです。

### Ⅲ 各種資格の取得

#### 1. 教育職員免許状の取得について

注) 平成21年度以前入学者については、入学年度の履修案内を元に履修をしてください。

文学部を卒業して中学校・高等学校教員になろうとする者は、教育職員免許状に定める科目の単位を修得しなければなりません。詳細については、別途ガイダンスを行うので掲示に注意してください。

文学部で資格を取得できる免許状の種類は次のとおりです。

行 動 科 学 科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（公民）
史 学 科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
日 本 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状（国語） 高等学校教諭一種免許状（国語）
国際言語文化学科	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）

所属する学科の上記免許状についてのみ、大学から一括申請が可能です。一括申請した学生は卒業時に免許状を受理することが可能です。所定の単位を修得していれば、卒業後に個人申請をすることも可能です。（県への一括申請、個人申請は別途有料となります）

必要資格および単位

	必要資格	教科に関する単位	教職に関する単位	教科又は教職に関する単位
中学校教諭一種免許状	学士の学位	20	31	8
高等学校教諭一種免許状	学士の学位	20	23	16

教育職員免許状取得希望者が履修すべき科目

##### a. 教科に関する科目

教科に関する科目（後掲）に指定された授業科目から、合計20単位以上を履修すること。他学科・他学部で開講されるものもあります。

##### b. 教職に関する科目

教育学部で開講される当該授業科目を履修し、次表の単位を充足すること。ただし「教育実習（事前・事後指導を含む）」は、文学部で開講します。「教職実践演習」については、4年後期に履修しなければなりません。卒業論文等との兼ね合いを十分に考えて履修してください。

##### c. 教科又は教職に関する科目

「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」のうち、最低修得単位を超えて履修した単位を用います。

後述の『教育職員免許状（高等学校教諭一種）の履修についての注意点』（31ページ）を併せて参照してください。

d. その他（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

a～cまでに加え、以下の単位を修得しなければなりません。

免許法施行規則に定める科目・単位数		左記に対応する開設授業科目		
科目	単位数	科目	単位数	備考
日本国憲法	2	憲法	2	
体育	2	スポーツ・健康科目	1	2種目2単位履修。同一種目不可
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ CALL英語 英語Ⅱ 中級英語Ⅰ、Ⅱ 上級英語 海外研修英語 海外研修英語文化	2 2 1 2 2 4 2	1科目以上2単位選択必修
情報機器の操作	2	情報リテラシー科目	2	

### 教職に関する科目表

教職に関する専門教育科目	教育職員免許法に定める最低修得単位		千葉大学文学部の定める修得単位			
	免許状の種類		左記に対応する開設授業科目	単位数		
	中一免	高一免		中学校	高等学校	
教職員の意義等に関する科目	2	2	現代教職論	2	2	
教育の基礎理論に関する科目	6	6	教育学概論 教育心理学 教育制度論	2 2 2	2 2 2	
教育課程及び指導法に関する科目	12	6	教育学部 教育課程論 教科教育法（※1） 道徳教育 教育方法論、特別活動論	2 6 2 2	2 2 0 2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	4	教育学部 生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ 生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ 臨床教育実践（※2）	2 2 2	2 2 2	
教育実習	5	3	文学部 事前・事後指導 教育実習	1 4	1 2	
教職実践演習	2	2	教育学部 教職実践演習（中・高）	2	2	
合計	31	23		31	23	

（※1）教科教育法の具体的な開設科目は、取得しようとする免許の種類によって異なります。詳細は掲示にて確認してください。

（※2）平成24年度以前入学学生は履修不可。

#### ●介護等体験

中学校教諭一種免許状を取得しようとする者には、「介護等体験」が義務づけられています。下記のような要領で実施される予定です。詳細については、掲示やガイダンスで周知します。

1. 対象年次 2年次
2. 期間 7日間（社会福祉施設5日間，特別支援学校2日間）
3. 募集期間 2年次の学年初め
4. 実施施設 文部科学大臣が厚生労働大臣と協議して定める施設
5. 費用 経費の徴収があります。
6. その他 介護等体験をしなくても良い者
  - ① 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者
  - ② 身体上の障害により介護等の体験を行うことが困難な者

●教職に関する科目等の履修について

原則として、3年次までに「教職実践演習」を除くすべての「教職に関する科目」を修得し、普遍教育科目の卒業要件単位を満たし、既修得単位の合計が90単位以上（所属学部・学科の専門教育科目修得単位が40単位以上であることを含む。）でなければ、教育実習を行うことはできません。

「教職に関する科目」及び教職に必要な各科目の修得単位については、取りこぼしのないよう各自で入学時の履修案内を熟読し、確認してください。また開講時期が前期のみ、あるいは後期のみとなっている科目もあるので、事前に時間割をよく確認のうえ履修計画を立てるようにしましょう。単位修得にあたっては、最低修得単位数を満たすのみではなく、履修単位数に余裕をもって履修計画を立ててください。なお履修にあたり不明な点は学務グループに相談してください。

《特に留意すべき点》

- 「教科又は教職に関する単位（中学は8単位、高校は16単位）」についても不足なく修得できているか（余剰単位の履修）。
- 「教科に関する科目」について、教育科目表の科目区分に沿って不足ないように履修しているかどうか。
- 免許法施行規則第66条の6に定める科目の単位を修得しているかどうか。

●教育職員免許状（高等学校教諭一種）の履修についての注意点

「教科又は教職に関する科目」について、最低修得単位を超えて履修した「教職に関する科目」を充当することは、以下の場合に限って可能です。

免許の種類	「教科又は教職に関する科目」として充当できる「教職に関する科目」
高等学校一種免許状 (地理歴史)(公民)	「教育実習」を5単位修得した場合の余剰単位2単位分
高等学校一種免許状 (国語)(英語)	①「教育実習」を5単位修得した場合の余剰単位2単位分 ②当該教科の「教科教育法」を2単位を越えて修得した場合における余剰単位

「公民」、「地理歴史」の免許状を取得しようとする場合には、中学校「社会」の免許状取得のために履修した「教科教育法」の単位を「教科又は教職に関する科目」に充当することはできません。

「教科又は教職に関する科目」の履修については、可能な限り、「教科に関する科目」によって単位を修得してください。十分に履修単位に余裕をもって履修計画を立ててください。

その他、具体的な履修方法については、必ず、各自入学年度の「文学部履修案内」により確認してください。

●「教職実践演習」について

平成22年度入学の学生から「教職実践演習」が必修科目となりました。4年後期に履修することが定められていますので、それ以前に単位を修得することはできません。また「教職実践演習」の新設に伴い、平成22年度入学の学生から「履修カルテ」に必要事項を記入のうえ提出し、履修状況の確認を受ける必要があります。「履修カルテ」は2年次に配布します。詳細は教職ガイダンスで説明しますので必ず出席してください。

い。なお、平成21年度以前入学者向け「総合演習」を履修しても「教職に関する科目」の単位にはならないので注意してください。

※教職履修者の主なスケジュール

(行事、日程については変更になる場合があります。常に教職科目掲示板で確認してください。)

1年次	4月	資格取得ガイダンス
2年次	4月	介護等体験ガイダンス・教職ガイダンス（「履修カルテ」等について）
	6月頃～翌年2月頃	各自介護等体験実施
3年次	4月	教育実習ガイダンス
	5月～	各自実習希望校へ行き内諾を得る
	9月下旬	学内事前指導……ビデオによる学習
	10月	「教育実習登録票」提出
	11月～	実習校へ教育実習依頼状を発送
4年次	4月	教育実習直前ガイダンス (教育学部教育実習担当教員による講話等)
	5月～	本実習（授業観察実施は各実習校による）
	実習後	事後指導……指導教員との個別研修
	後期	「教職実践演習（中・高）」履修
	10月～12月	一括申請手続
	3月	卒業時に免許状交付

「教科に関する科目」一覧表

行動科学科において免許状の取得希望者が履修すべき教科（専門科目）

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「公 民」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本史及び外国史	4～	日 本 史 概 説 a } 日 本 史 概 説 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	/			
		世 界 史 基 礎 a } 世 界 史 基 礎 b }					
		文化財学概説	2				
		日 本 古 代 史 a,b	各2				
		日 本 中 世 史 a,b	各2				
		日 本 近 世 史 a,b	各2				
		日 本 近 代 史 a,b	各2				
		日 本 現 代 史 a,b	各2				
		日 本 美 術 史 a,b	各2				
		地 域 考 古 学	2				
		比 較 考 古 学 a,b	各2				
		先 史 考 古 学 a,b	各2				
		歴 史 考 古 学 a,b	各2				
		歴 史 社 会 学 a,b	各2				
		情 報 社 会 史	2				
		ア ジ ア 史 概 説 a,b	各2				
		東 ア ジ ア 史 概 説	2				
		ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ 史 概 説 a,b	各2				
		宗 教 文 化 史	2				
		ア ジ ア 思 想 史	2				
		図 像 情 報 史 学 概 説 a,b	各2				
		図 像 解 釈 学 a,b	各2				
		マ イ ノ リ テ ィ ー 史	2				
		東 ア ジ ア 地 域 史 a,b	各2				
		イ ス ラ ム 地 域 史 a,b	各2				
		中 東 ・ 北 ア フ リ カ 近 現 代 社 会 論 a,b	各2				
		北 ア メ リ カ 地 域 史 a,b	各2				
		地 中 海 地 域 史 a,b	各2				
		東 ヨ ー ロ ッ パ 地 域 史 a,b	各2				
		西 ヨ ー ロ ッ パ 地 域 史 a,b	各2				
ア ジ ア ・ ア フ リ カ 植 民 地 史 論 a,b	各2						
比 較 社 会 史 a,b	各2						
東 南 ア ジ ア 地 域 史 a,b	各2						
地理学 (地誌を含む。)	6～	人 文 地 理 学 a } 人 文 地 理 学 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修				
		自 然 地 理 学 a } 自 然 地 理 学 b }					
		地 誌 a } 地 誌 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修				
「法律学, 政治学」	2～	入 門 基 礎 政 治 学	2単位必修	「法律学(国際法 を含む。), 政治 学(国際政治を含 む。)」	6～	入 門 基 礎 政 治 学	2単位必修
		国 際 政 治 I	2			国 際 政 治 I	2単位必修
		国 際 政 治 II	2			国 際 政 治 II	2単位必修
		憲 法 I	2			憲 法 I	2
		憲 法 II	2			憲 法 II	2
		民 法 I	2			民 法 I	2

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「公 民」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
「法律学, 政治学」		民 法 II 民 法 III 家 族 法 刑 法 I 刑 法 II 商 取 引 法 会 社 法 労 働 法 I 労 働 法 II 経 済 法 I 経 済 法 II	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」		民 法 II 民 法 III 家 族 法 刑 法 I 刑 法 II 商 取 引 法 会 社 法 労 働 法 I 労 働 法 II 経 済 法 I 経 済 法 II	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
「社会学, 経済学」	2～	社会学基礎 } 文化人類学基礎 } 社会学概説 a,b 文化人類学概説 a,b 理論社会学 a,b 家族社会学 a,b 産業社会学 a,b 環境社会学 a 地域社会学 a,b 国際社会学 a 文化社会学 a,b メディア社会学 a,b コミュニケーション社会学 a,b ジェンダーの社会学 a,b 社会問題の社会学 a 生活史の社会学 a,b 応用社会学 a,b 医療と福祉の社会学 a,b 性の人類学 a 生態人類学 a,b 医療人類学 a,b	いずれか1科目2単位を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2 2 各2 2 各2 各2 各2 各2 2 2 各2 各2 各2 各2 2 各2 各2	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	2～	社会学基礎 } 文化人類学基礎 } 社会学概説 a,b 文化人類学概説 a,b 理論社会学 a,b 家族社会学 a,b 産業社会学 a,b 環境社会学 a 地域社会学 a,b 国際社会学 a 文化社会学 a,b メディア社会学 a,b コミュニケーション社会学 a,b ジェンダーの社会学 a,b 社会問題の社会学 a 生活史の社会学 a,b 応用社会学 a,b 医療と福祉の社会学 a,b 性の人類学 a 生態人類学 a,b 医療人類学 a,b	いずれか1科目2単位を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2 2 各2 2 各2 各2 各2 各2 2 2 各2 各2 各2 各2 2 各2 各2
「哲学, 倫理学, 宗教学」	2～	哲学基礎 } 論理学の哲学 a,b 価値論 a,b 科学基礎論 a,b 技術論 a,b 科学史 a,b 東洋哲学概説 a,b 西洋古代中世哲学 a,b,c,d 西洋近世近代哲学 a,b,c,d 現代哲学 a,b,c,d 倫理思想史 a,b,c,d 現代哲学講読 a,b,c,d 知識論講読 a,b,c 行為論講読 a,b,c 文化論講読 a,b,c 東洋哲学講読 a,b,c,d	2単位必修 各2	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	2～	哲学基礎 } 心理学基礎 } 認知情報科学基礎 } 論理学の哲学 a,b 価値論 a,b 科学基礎論 a,b 技術論 a,b 科学史 a,b 東洋哲学概説 a,b 西洋古代中世哲学 a,b,c,d 西洋近世近代哲学 a,b,c,d 現代哲学 a,b,c,d 倫理思想史 a,b,c,d 現代哲学講読 a,b,c,d 知識論講読 a,b,c 行為論講読 a,b,c	いずれか1科目2単位を選択必修 各2

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「公 民」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
				「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」		文化論講読 a,b,c 東洋哲学講読 a,b,c,d 知覚心理学 a,b 認知心理学 a,b 高次認知論 a,b 人格心理学 a,b 社会心理学 a,b 言語情報処理論 a,b 認知行動基礎論 a,b 比較認知論 a,b データ解析基礎論 a,b 知的情報処理論 a,b	各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2
合 計	20		必修16単位 選択4単位	合 計	20		必修10単位 選択10単位

(注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。

(注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」8単位分修得する必要があります。上表からは、合計28単位分を修得してください。

(注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」16単位分修得する必要があります。「教科又は教職に関する科目」は、「教職に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表の科目から16単位分修得してください。(31ページの記述を参照。)

### 史学科において免許状の取得希望者が履修すべき教科(専門科目)

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「地 理 歴 史」					
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目			
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数		
日本史及び外国史	4～	日本史概説 a } 日本史概説 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修	日本史	2～	日本史概説 a } 日本史概説 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修		
		世界史基礎 a } 世界史基礎 b }				文化財学概説		2	
		文化財学概説				2		日本古代史 a,b	各2
		日本古代史 a,b				各2		日本中世史 a,b	各2
		日本中世史 a,b				各2		日本近世史 a,b	各2
		日本近世史 a,b				各2		日本近代史 a,b	各2
		日本近代史 a,b				各2		日本現代史 a,b	各2
		日本現代史 a,b				各2		日本美術史 a,b	各2
		日本美術史 a,b				各2		地域考古学	2
		地域考古学				2		比較考古学 a,b	各2
		比較考古学 a,b				各2		先史考古学 a,b	各2
		先史考古学 a,b				各2		歴史考古学 a,b	各2
		歴史考古学 a,b				各2		歴史社会学 a,b	各2
		歴史社会学 a,b				各2		情報社会史	2
		情報社会史				2		アジア史概説 a,b	各2
		アジア史概説 a,b				各2		東アジア史概説	2
		東アジア史概説				2		ヨーロッパ・アメリカ史概説 a,b	各2
		ヨーロッパ・アメリカ史概説 a,b				各2		宗教文化史	2
		宗教文化史				2		アジア思想史	2
		アジア思想史				2		図像情報史学概説 a,b	各2
図像情報史学概説 a,b	各2	世界史基礎 a } 世界史基礎 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修						
		図像情報史学概説 a,b		各2					
		アジア史概説 a,b	各2						
		東アジア史概説	2						
		ヨーロッパ・アメリカ史概説 a,b	各2						
		宗教文化史	2						
		アジア思想史	2						
		アジア思想史	2						

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「地理歴史」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
日本史及び外国史		図 像 解 釈 学 a,b マイノリティー史 東アジア地域史 a,b イスラーム地域史 a,b 中東・北アフリカ近現代社会論 a,b 北アメリカ地域史 a,b 地中海地域史 a,b 東ヨーロッパ地域史 a,b 西ヨーロッパ地域史 a,b アジア・アフリカ植民地史論 a,b 比較社会史 a,b 東南アジア地域史 a,b	各2 2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2	外国史		図 像 解 釈 学 a,b マイノリティー史 東アジア地域史 a,b イスラーム地域史 a,b 中東・北アフリカ近現代社会論 a,b 北アメリカ地域史 a,b 地中海地域史 a,b 東ヨーロッパ地域史 a,b 西ヨーロッパ地域史 a,b アジア・アフリカ植民地史論 a,b 比較社会史 a,b 東南アジア地域史 a,b	各2 2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2 各2
地理学 (地誌を含む。)	6～	人 文 地 理 学 a } 人 文 地 理 学 b } 自 然 地 理 学 a } 自 然 地 理 学 b } 地 誌 a } 地 誌 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修  いずれか1 科目2単位 を選択必修  いずれか1 科目2単位 を選択必修	人文地理学及び自 然地理学	4～	人 文 地 理 学 a } 人 文 地 理 学 b } 自 然 地 理 学 a } 自 然 地 理 学 b } 地 誌 a } 地 誌 b }	いずれか1 科目2単位 を選択必修  いずれか1 科目2単位 を選択必修  いずれか1 科目2単位 を選択必修
「法学, 政治学」	2～	入 門 基 礎 政 治 学 国 際 政 治 I 国 際 政 治 II 憲 法 I 憲 法 II 民 法 I 民 法 II 民 法 III 家 族 法 刑 法 I 刑 法 II 商 取 引 法 会 社 法 労 働 法 I 労 働 法 II 経 済 法 I 経 済 法 II	2単位必修 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
「社会学, 経済学」	2～	社 会 学 基 礎 } 文 化 人 類 学 基 礎 } 社 会 学 概 説 a,b 文 化 人 類 学 概 説 a,b 理 論 社 会 学 a,b 家 族 社 会 学 a,b 産 業 社 会 学 a,b 環 境 社 会 学 a 地 域 社 会 学 a,b 国 際 社 会 学 a 文 化 社 会 学 a,b メ デ ィ ア 社 会 学 a,b コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 社 会 学 a,b ジ ェ ン ダ ー の 社 会 学 a,b	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 2 各2 2 各2 各2 各2 各2 各2				

中 一 免 「社 会」				高 一 免 「地理歴史」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
「社会学, 経済学」		社会問題の社会学 a	2	/			
		生活史の社会学 a,b	各2				
		応用社会学 a,b	各2				
		医療と福祉の社会学 a,b	各2				
		性 の 人 類 学 a	2				
		生態人類学 a,b	各2				
		医療人類学 a,b	各2				
「哲学, 倫理学, 宗 教学」	2～	哲 学 基 礎	2単位必修				
		論 理 学 の 哲 学 a,b	各2				
		価 値 論 a,b	各2				
		科 学 基 礎 論 a,b	各2				
		技 術 論 a,b	各2				
		科 学 史 a,b	各2				
		東洋哲学概説 a,b	各2				
		西洋古代中世哲学 a,b,c,d	各2				
		西洋近世近代哲学 a,b,c,d	各2				
		現 代 哲 学 a,b,c,d	各2				
		倫 理 思 想 史 a,b,c,d	各2				
		現 代 哲 学 講 読 a,b,c,d	各2				
		知 識 論 講 読 a,b,c	各2				
行 為 論 講 読 a,b,c	各2						
文 化 論 講 読 a,b,c	各2						
東洋哲学講読 a,b,c,d	各2						
合 計	20		必修16単位 選択4単位	合 計	20		必修10単位 選択10単位

- (注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。
- (注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」8単位分修得する必要があります。上表からは、合計28単位分を修得してください。
- (注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」16単位分修得する必要があります。「教科又は教職に関する科目」は、「教職に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表の科目から16単位分修得してください。31ページの記述を参照。)

### 日本文化学科において免許状の取得希望者が履修すべき教科（専門科目）

中 一 免 「国 語」				高 一 免 「国 語」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
国語学（音声言語 及び文章表現に関 するものを含む。）	4～	言 語 学 概 説 a	いずれか1 科目2単位 を選択必修	国語学（音声言語 及び文章表現に関 するものを含む。）	4～	言 語 学 概 説 a	いずれか1 科目2単位 を選択必修
		言 語 学 概 説 b				言 語 学 概 説 b	
		音 声 学 a	いずれか1 科目2単位 を選択必修			音 声 学 a	いずれか1 科目2単位 を選択必修
		音 声 学 b				音 声 学 b	
		日 本 語 学 概 説 a,b	各2			日 本 語 学 概 説 a,b	各2
		日 本 語 史 a,b	各2			日 本 語 史 a,b	各2
		日 本 文 法 論 a,b,c,d	各2			日 本 文 法 論 a,b,c,d	各2
		古 代 日 本 語 論 a,b,c,d	各2			古 代 日 本 語 論 a,b,c,d	各2
		近 代 日 本 語 論 a,b,c,d	各2			近 代 日 本 語 論 a,b,c,d	各2
		現 代 日 本 語 論 a,b,c,d	各2			現 代 日 本 語 論 a,b,c,d	各2
		日 本 地 域 言 語 学 音 韻 論 a,b	各2			日 本 地 域 言 語 学 音 韻 論 a,b	各2
		日 本 地 域 言 語 学 形 態 論 a,b	各2			日 本 地 域 言 語 学 形 態 論 a,b	各2



国際言語学科において免許状の取得希望者が履修すべき教科（専門科目）

中 一 免 「英 語」				高 一 免 「英 語」			
免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目		免許法施行規則に定める 専 門 科 目 区 分 等		左記に対応する開設専門科目	
科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
英語学	2～	英 語 学 概 説 a } 英 語 学 概 説 b } 英 文 法 a,b 英 語 音 声 学 a,b 英 語 史 a,b 生成文法理論演習 a,b,c,d 英 語 学 演 習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2	英語学	2～	英 語 学 概 説 a } 英 語 学 概 説 b } 英 文 法 a,b 英 語 音 声 学 a,b 英 語 史 a,b 生成文法理論演習 a,b,c,d 英 語 学 演 習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2
英米文学	2～	イギリス文学史 a } イギリス文学史 b } イギリス文学概説 a,b イギリス文学演習 a,b,c,d アメリカ文学史 a,b アメリカ小説論 a,b アメリカ文学演習 a,b,c,d アメリカ小説論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2	英米文学	2～	イギリス文学史 a } イギリス文学史 b } イギリス文学概説 a,b イギリス文学演習 a,b,c,d アメリカ文学史 a,b アメリカ小説論 a,b アメリカ文学演習 a,b,c,d アメリカ小説論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2
英語コミュニケーション	4～	英 会 話 I a } 英 会 話 I b } 英 作 文 I a } 英 作 文 I b } 英 会 話 II a,b 英 作 文 II a,b 芸術メディア論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2	英語コミュニケーション	4～	英 会 話 I a } 英 会 話 I b } 英 作 文 I a } 英 作 文 I b } 英 会 話 II a,b 英 作 文 II a,b 芸術メディア論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2
異文化理解	2～	英 語 圏 文 化 論 a } 英 語 圏 文 化 論 b } イギリス文化論 a,b アメリカ文化論 a,b 広域英語圏文化論 a,b イギリス文化論演習 a,b,c,d アメリカ文化論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2	異文化理解	2～	英 語 圏 文 化 論 a } 英 語 圏 文 化 論 b } イギリス文化論 a,b アメリカ文化論 a,b 広域英語圏文化論 a,b イギリス文化論演習 a,b,c,d アメリカ文化論演習 a,b,c,d	いずれか1 科目2単位 を選択必修 各2 各2 各2 各2 各2
合 計	20		必修10単位 選択10単位	合 計	20		必修10単位 選択10単位

(注1) ゴシック表記の授業科目は、必修または選択必修科目です。指定された授業科目並びに単位数を必ず修得してください。

(注2) 中学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」8単位分修得する必要があります。上表からは、合計28単位分を修得してください。

(注3) 高等学校1種免許状で指定されている「教科に関する科目」の最低修得単位数は20単位ですが、これに加えて「教科又は教職に関する科目」16単位分修得する必要があります。「教科又は教職に関する科目」は、「教職に関する科目」からも一定単位数分充当することが可能ですが、なるべく上表の科目から16単位分修得してください。(31ページの記述を参照。)

## 2. 学芸員資格の取得について

学芸員とは、博物館・美術館などにおける資料の収集・保管，展示，調査研究などにかかわる専門職です。学芸員の資格を得ようとする者は、「博物館法」に定める科目を修得しなければなりません。学芸員の資格は、学士の学位を持つ者で大学において博物館に関する科目の単位を修得した者に与えられます。学芸員資格取得証明書を必要とする場合は、文学部学務グループが定める所定の期間において、窓口で申請し、交付を受けてください。（原則として一度しか交付しませんので原本は大切に保管してください。）

### 1) 履修方法（平成24年度以降入学学生対象〈平成24年度以降入学の編入学生含む〉）

大学において履修すべき博物館に関する科目（「博物館法」科目）と必要単位は、合計19単位必要です。本学では、これらに対応する授業科目を複数の学部等で開講しています。

「博物館法」に定める科目	必要単位	本学開講授業科目	受講対象	単位	開講学部等	
生涯学習概論	2	生涯学習概論		2	教育学部	
博物館概論	2	博物館概論		2	普遍教育	
博物館経営論	2	博物館経営論		2	普遍教育	
博物館資料論	2	博物館資料論A～D（※Dは隔年開講） 博物館学 a～b （当面は博物館学 a のみを開講）	このうち、 1科目履修	2	普遍教育	
				2	文学部	
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論		2	普遍教育	
博物館展示論	2	博物館展示論		2	普遍教育	
博物館教育論	2	博物館教育論		2	普遍教育	
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論		2	普遍教育	
博物館実習	3	博物館実習A（自然史系・環境科学系） 博物館実習B（美術系） 博物館学実習 a, b, c（歴史系） ナチュラルヒストリー（自然史系）	このうち、 1科目 3単位 履修	（資料論B D履修者）	3	普遍教育
				（資料論C履修者）	3	普遍教育
				（資料論A又は博物館学 a・b履修者）	3	文学部
				（資料論B D履修者）	3	理学部
計	19	計		19		

※履修にあたっては、千葉大学普遍教育『Guidance 2015』の学芸員資格取得に関わる頁を併せて参照してください。

### 2) 博物館実習について

1. 博物館実習の履修には、博物館概論，博物館資料論，博物館教育論は修得済みであり，博物館実習Bと博物館学実習c（館園実習）の受講年度には，原則としてすべての博物館法科目の修得が終わっている必要があります。なお，博物館資料論は博物館実習と一致する科目を履修してください。
2. 歴史系の博物館実習は，文学部で開講されている博物館学実習a（実務実習）・博物館学実習b（見学実習）（各1単位）を3年次で履修した後，博物館学実習c（館園実習）（1単位）を4年次で履修してください。博物館学実習cについては，履修の前の年度（3年次）に登録予約（ガイダンス）を行うので注意してください（詳細は掲示します）。
3. 美術系の博物館実習は，3～4年次に博物館実習Bを履修してください。
4. 自然史系と環境科学系の博物館実習Aおよびナチュラルヒストリーについては千葉大学普遍教育『Guidance 2015』の該当頁を参照してください。

### 3) 平成23年度以前入学者の学芸員資格の取得について

平成23年度以前に入学した学生については、前頁の表によらず、入学年度の「文学部履修案内」に定められている学芸員資格の取得方法に従って、所定の単位を修得してください。卒業までに所定の単位を全て修得すれば、学芸員資格取得に必要な単位を全て充足したものとみなされます。なお、詳細については、『Guidance 2015』の該当頁を併せて参照してください。

## 3. 司書資格の取得について

### 1) 目的・趣旨

司書とは、「図書館法」に基づき、図書館において、図書、記録その他必要な資料を収集、整理、保存、展示、調査研究などの専門的職務に従事する職員です。

「図書館法」は、公共図書館の設置等を定めるものなので、それが規定する司書も、本来は公共図書館に勤務する専門的職員をさしています。しかしながら、初中等学校に勤務する学校図書館司書教諭を除くと、公共図書館以外の図書館（例えば大学図書館）に勤務する専門的職員の資格を規定する制度が存在しないため、司書資格が実質的に様々な種類の図書館における専門的職員のための資格と見なされています。

千葉大学文学部では、このような現状をふまえ、「図書館法施行規則」第4条に基づく司書資格取得のための科目に相当する授業科目を開設するとともに、大学図書館や専門図書館に関する科目、現下の社会の情報化の進展にも対応しうる科目を設置し、社会の要請に応えうる専門的職員の養成をめざすこととしました。

### 2) 資格取得のための条件

司書となる資格は、「図書館法」第5条の定めによれば、(1)大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの、(2)大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの、(3)次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの：イ) 司書補の職、ロ) 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの、ハ) ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものが有するとされています。千葉大学文学部では、この(1)に基づいて開設される科目を履修したものが、司書の資格を取得することができます。

### 3) 文学部における司書資格取得のための相当科目履修

司書資格の取得には、開講科目一覧表の左欄の「図書館法」科目において、必修科目区分のすべての単位（22単位）と選択科目区分から2単位以上の、あわせて24単位以上の修得が必要です。この条件を満たすように、「図書館法」科目に相当する本学開講科目を履修しなければなりません。

具体的には、本学の開講科目のうち、必修科目に区分されている授業科目のすべてと、選択科目から最低2科目（「図書館法」科目において、異なる科目に対応しているもの）を履修してください。千葉大学文学部のカリキュラムにおいては、次頁の表に定められているとおり、合計30単位以上を修得する必要があります。

開講科目一覧表（平成24年度以降入学学生対象〈平成24年度以降入学の編入学生含む〉）

区分	「図書館法」法令上の科目	必要 単位	本学開講 授業科目	受講対象	単位	開 講 学部等	備考
必修 科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	1年次以上	2	教育学部	
	図書館概論	2	図書館概論	1年次以上	2	普遍教育	
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2年次以上	2	普遍教育	
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2年次以上	2	普遍教育	
	図書館サービス概論	2	公共図書館サービス論	2年次以上	2	普遍教育	
	情報サービス論	2	情報サービス論	2年次以上	2	文学部	
	児童サービス論	2	児童サービス論	2年次以上	2	普遍教育	
	情報サービス演習	2	情報サービス演習	3年次以上	2	文学部	2科目とも必修
			情報検索演習	3年次以上	2	文学部	
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2年次以上	2	普遍教育	
	情報資源組織論	2	資料・情報組織論	2年次以上	2	文学部	
	情報資源組織演習	2	資料・情報組織演習 a	3年次以上	2	文学部	2科目とも必修
資料・情報組織演習 b			3年次以上	2	文学部		
選 択 科 目 ※最低2科目履修	図書館基礎特論	1	電子図書館論	2年次以上	2	文学部	
	図書館サービス特論	1	大学図書館論	2年次以上	2	文学部	
	図書館情報資源特論	1	学術情報論	2年次以上	2	普遍教育	
	図書・図書館史	1	書誌学概論	1年次以上	2	普遍教育	
	図書館施設論	1					
	図書館総合演習	1					
	図書館実習	1	図書館インターンシップ	3年次以上	2	文学部	
計	24	計			30		

注1：「情報サービス演習」「情報検索演習」の両方を履修する必要があります。

注2：「資料・情報組織演習」については、a・bの両方を履修する必要があります。

注3：演習科目については、履修者が多い場合には受講生を制限することがあります。制限が必要となった場合には、その方法などについて別途通知します。

注4：授業科目の開講時期は、年度ごとに異なるため、毎年度開講学部等に確認のうえ、履修計画を立ててください。

#### 4) 履修方法

図書館に関する科目は、概ね2年間（学部の2年次～3年次が望ましい）で履修することを想定して開設されています。一部の普遍教育開講科目については1年次からの履修も可能です。

必修科目のうち、「図書館概論」（普遍教育）は、最初に履修すべき科目です。また科目の連続性を考慮し、以下の6科目については、履修年次を以下のように定めます。

初 年 度	次 年 度（3年次以降）
情 報 サ ー ビ ス 論	情 報 サ ー ビ ス 演 習 情 報 検 索 演 習
資 料 ・ 情 報 組 織 論	資 料 ・ 情 報 組 織 演 習 a 資 料 ・ 情 報 組 織 演 習 b

また選択科目については、なるべく多くの授業科目を履修することを推奨します。

#### 5) 履修上の注意

演習科目については、履修希望者が多い場合には受講生を制限することがあります。制限が必要となった場合には、その方法などについて別途通知します。

#### 6) 証明書の交付

司書資格の取得には、大学の卒業が求められるため、司書資格に必要なすべての単位を修得した者で、単位取得の証明書を必要とするものは、4年次の後期に文学部学務グループに申請し、交付を受けて下さい。（申請期間については、別途掲示します。）なお、証明書は原則として1度しか交付しないので、原本は大事に保管して下さい。

#### 7) 平成23年度以前入学者の司書資格の取得について

平成23年度以前に入学した学生については、前項までの履修方法によらず、入学年度の「文学部履修案内」に定められている図書館司書資格の取得方法に従って、所定の単位を修得してください。卒業までに所定の単位を全て修得すれば、図書館司書資格取得に必要な単位を全て充足したものとみなされます。なお、詳細については、『Guidance 2015』の当該頁を併せて参照してください。

## 4. 日本語教育コースについて

日本語を外国語あるいは第二言語として教育することをめざす学生のため、文学部では文部科学省の示した副専攻モデルに準じた日本語教育コースを設定しています。どの学科の学生でも次の表に示された所定の単位を修得すれば、修了証を得ることができます。

ただし、これは日本語教育に携わる「資格」を公的に認定するものではなく、日本語教育に携わるのに必要とされる基礎的な教育を受けたことを証するものです。

なお、公的な検定試験としては、財団法人日本国際教育支援協会の主催する「日本語教育能力検定試験」があるので、受験を希望する学生は各自で準備するようにして下さい。

### ○修了証の交付について

本コースの修了は大学の卒業が求められるため、本コースに必要なすべての単位を修得した者で、修了証を必要とするものは、4年次の後期に文学部学務グループに申請し、交付を受けてください。(申請期間については別途掲示します。)なお、証明書は原則として1度しか交付しないので、原本は大事に保管してください。

日本語教育コース必要単位一覧

区 分	授 業 科 目	単位数	備 考
日本語教育もしくは言語教育に関する科目	日本語教育方法論 a,b 日本語教育方法論演習 a,b 日本語授業演習 a,b 第二言語習得論 a,b	12単位	日本語教育方法論 a,b および同演習 a,b は必修。
日本語の構造に関する科目	日本語学概説 a,b 日本文法論 a,b,c,d 現代日本語論 a,b,c,d 現代日本語演習 a,b,c,d	6単位	
言語およびコミュニケーションに関する科目	言語学概説 a,b 音声学 a,b 社会言語学 a,b 異文化間コミュニケーション論 a,b 多言語多文化接触論 a,b 多言語多文化接触論演習 a,b,c,d	4単位	平成24年度以前に入学した者は、多言語多文化接触論演習を異文化間コミュニケーション論演習に読み替えることができる。
社会・文化・日本社会・日本文化・文化交流等に関する科目	心理学基礎 日本史概説 a,b 日本文学史 a,b,c,d,e,f,g,h 比較文化概説 a,b	4単位	平成22年度以前に入学した者は、日本古典文学史及び日本近代文学史を日本文学史に読み替えることができる。
合 計		26単位	

# Ⅳ そ の 他

## 1. 文学部教員名簿

2015. 4. 1現在

学科	講座	職名	氏名	研究室所在	研究室電話番号	研究室電子メールアドレス	
文学部	哲	教授	高橋久一郎	文学部棟5階505	043(290)2272	taka@L.chiba-u.ac.jp	
		〃	忽那敬三	文学部棟2階206	043(290)3661	kutsuna@chiba-u.jp	
		〃	和泉ちえ	文学部棟5階503	043(290)2275	izumi@L.chiba-u.ac.jp	
		〃	内山直樹	文学部棟5階506	043(290)2271	uchiyam@chiba-u.jp	
		学	准教授	山田圭一	文学部棟2階204	043(290)2279	kyamada@L.chiba-u.ac.jp
			〃	秋葉剛史	文学部棟5階504	043(290)2273	
	行動	認知情報科学	教授	阿部明典	人社研棟4階407	043(290)3577	ave@L.chiba-u.ac.jp
			〃	伝康晴	人社研棟3階302	043(290)2277	den@L.chiba-u.ac.jp
			〃	松香敏彦	人社研棟4階408	043(290)3578	matsuka@chiba-u.jp
			准教授	牛谷智一	文学部棟5階510	043(290)2274	ushitani@faculty.chiba-u.jp
	心理学	心	教授	須藤昇	文学部棟5階514	043(290)2325	suto@faculty.chiba-u.jp
			〃	若林明雄	文学部棟5階513	043(290)2282	akiow@faculty.chiba-u.jp
			〃	木村英司	文学部棟5階519	043(290)2281	eiji.kimura@chiba-u.jp
			〃	一川誠	文学部棟5階515	043(290)2283	michikawa@chiba-u.jp
		学	准教授	磯部智加衣	文学部棟5階518	043(290)2285	cisobe@L.chiba-u.ac.jp
			助教	柳淳二	文学部棟5階516	043(290)2286	yanagi@chiba-u.jp
	社会学	社	教授	西阪仰	文学部棟4階405	043(290)2288	augnish@chiba-u.jp
			〃	米村千代	文学部棟4階407	043(290)2289	yonemura@chiba-u.jp
			准教授	清水洋行	文学部棟4階406	043(290)2292	hishimizu@chiba-u.jp
		会	〃	出口泰靖	文学部棟4階408	043(290)2291	ydeguchi@chiba-u.jp
〃			鶴田幸恵	総合校舎A号館3階306	043(290)3659	tsuruta-s@chiba-u.jp	
助教			吉岡洋介	文学部棟4階404	043(290)2290		
文化人類学	教授	鈴木伸枝	文学部棟4階402	043(290)2295	nsuzuki@faculty.chiba-u.jp		
	准教授	小谷真吾	文学部棟4階403	043(290)2298	odani@faculty.chiba-u.jp		
	〃	高橋絵里香	文学部棟4階401	043(290)2296	takahashi@chiba-u.jp		

学科	講座	職名	氏名	研究室所在	研究室電話番号	研究室電子メールアドレス
史学	文化財学	教授	保坂高殿	大学院棟4階405-1	043(290)3640	hosaka@L.chiba-u.ac.jp
		〃	池田忍	総合校舎A号館3階313	043(290)3761	shinobu-ikeda@chiba-u.jp
		准教授	山田俊輔	文学部棟4階416	043(290)2304	s-yamada@chiba-u.jp
		助教	阿部昭典	文学部棟4階420	043(290)2301	abe.aki@L.chiba-u.ac.jp
	画像情報史学	教授	三宅明正	大学院棟4階405-2	043(290)3638	akimasa@chiba-u.jp
		〃	山田賢	文学部棟4階415	043(290)2307	yamada@L.chiba-u.ac.jp
		〃	栗田禎子	文学部棟2階226	043(290)3636	kurita@L.chiba-u.ac.jp
		〃	上村清雄	総合校舎A号館3階314	043(290)3643	uemurak@L.chiba-u.ac.jp
		准教授	引野亨輔	人社研棟4階405	043(290)3575	khikino@chiba-u.jp
	歴史学	教授	趙景達	文学部棟4階419	043(290)2306	cho@L.chiba-u.ac.jp
〃		小澤弘明	大学院棟2階203	043(290)2302	ozawa@L.chiba-u.ac.jp	
〃		大峰真理	大学院棟2階201	043(290)3639	omine@chiba-u.jp	
准教授		岩城高広	総合校舎A号館3階305	043(290)3658	iwakit@L.chiba-u.ac.jp	
〃		秋葉淳	文学部棟2階203	043(290)3630	j-akiba@faculty.chiba-u.jp	
日本文化学	日本語文化論	教授	村岡英裕	大学院棟5階505-2	043(290)3760	hmura@faculty.chiba-u.jp
		〃	神戸和昭	文学部棟5階508	043(290)2319	kgodo@faculty.chiba-u.jp
		〃	竹内比呂也	総合校舎A号館3階309	043(290)3023	hiroya@faculty.chiba-u.jp
		〃	柴佳世乃	総合校舎A号館3階311	043(290)3641	shiba-k@faculty.chiba-u.jp
		〃	岡部嘉幸	文学部棟5階507	043(290)2317	yokabe@faculty.chiba-u.jp
		准教授	大原祐治	文学部棟4階413	043(290)2314	yuji-ohr@faculty.chiba-u.jp
		〃	兼岡理恵	文学部棟4階412	043(290)2318	kaneoka@chiba-u.jp
	ユーラシア言語文化論	教授	中川裕	文学部棟4階411	043(290)2312	nkg@faculty.chiba-u.jp
		〃	吉田睦	大学院棟5階505-1	043(290)3749	ayoshida@faculty.chiba-u.jp
		〃	菅野憲司	総合校舎A号館3階307	043(290)3754	kanno@faculty.chiba-u.jp
		准教授	田口善久	文学部棟4階410	043(290)2308	ytaguchi@chiba-u.jp
		〃	児玉香菜子	文学部棟4階409	043(290)2310	kodamaknk@faculty.chiba-u.jp
		助教	古澤文	文学部棟3階317	043(290)2327	furusawa@chiba-u.jp

学科	講座	職名	氏名	研究室所在	研究室電話番号	研究室電子メールアドレス
国際言語文化学	比較文化論	教授	西村靖敬	文学部棟3階302	043(290)2332	nishimur@faculty.chiba-u.jp
		〃	三宅晶子	文学部棟2階201	043(290)3756	akiko@chiba-u.jp
		〃	加藤隆	文学部棟3階304	043(290)2330	kato@L.chiba-u.ac.jp
		准教授	鴻野わか菜	文学部棟2階202	043(290)3769	kono@chiba-u.jp
		〃	鳥山祐介	文学部棟2階225	043(290)3762	toriyama@L.chiba-u.ac.jp
	文芸様態論	教授	水上藤悦	文学部棟3階308	043(290)2329	mizukami@L.chiba-u.ac.jp
		〃	土田知則	文学部棟3階303	043(290)2333	tsuchida@chiba-u.jp
		〃	篠崎実	文学部棟3階314	043(290)2320	shino@chiba-u.jp
		准教授	高民定	大学院棟4階404	043(290)3635	komin@L.chiba-u.ac.jp
		〃	アンドリュウ・レイメント	文学部棟3階315	043(290)3748	rayment13@chiba-u.jp
		〃	舘美貴子	文学部棟3階311	043(290)2322	tachi@chiba-u.jp
		〃	山本裕子	文学部棟3階312	043(290)2365	y-yamamot@chiba-u.jp
	言語文化構造論	教授	石井正人	文学部棟3階307	043(290)2326	mishii@faculty.chiba-u.jp
		准教授	山口元	文学部棟3階301	043(290)2331	yamagu@chiba-u.jp
		〃	鎌田浩二	文学部棟3階309	043(290)2323	k-kamada@L.chiba-u.ac.jp

## 2. 時間割・教室割表

ゴシック表記の教員は非常勤講師のため、授業のある時間帯しか大学にいません。質問等がある場合は、授業の前後に、直接コンタクトを取るようになしてください。(学務グループの窓口で非常勤講師の連絡先を教えることはできません。)

### 【前期・月曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文 学 部 共 通						
行 動 科 学	言語情報処理論 a (伝康晴/103講)	古代中世哲学演習 c (和泉ちえ/共演 2) 言語認知情報学演習 a (伝康晴/共演 3) 比較認知論 a (牛谷智一/103講)	西洋近世近代哲学 c (秋葉剛史/院講 1) 認知情報科学特別実習 a (講座全/画情 2, 共演 3) 認知情報科学発展実習 a (講座全/画情 2, 共演 3) 心理学基礎演習 a (柳淳二/演21, 演 22) ジェンダーの社会学 a (米村千代/103講) 民族誌 d (高橋絵里香/演 14)	認知情報科学特別実習 a (講座全/画情 2, 共演 3) 認知情報科学発展実習 a (講座全/画情 2, 共演 3) 心理学研究法 a (講座全/画情 1) 心理学初級実験 a (講座全/演21, 院 演 2)	心理学研究法 b (講座全/画情 1) 心理学初級実験 a (講座全/演21, 院 演 2)	
史 学		史学方法論 a (三宅明正/院講 1)	世界史基礎 a (山田賢, 上村清雄, 大峰真理/106講) 歴史情報論演習 a (三宅明正/史学演習室) 比較ジェンダー史演習 a (池田忍/視聴覚演習室 A302) 東ヨーロッパ地域史 a (小澤弘明/102講)	外国語史料基礎演習 b (保坂高殿/演14) 文書館学 b (青木睦/共演 1) 先史考古学 b (阿部昭典/演22) 東南アジア地域史 a (岩城高広/院講 1)	東南アジア社会論演習 c (岩城高広/共演 2) 宗教文化史 (保坂高殿/院講 1)	
日 本 文 化		ユーラシア言語文化論演習 b (中川裕/院講 2) 芸能文化論 b (鶴飼伴子/102講)	日本語教育方法論 a (村岡英裕/院演 2) 近世文学論 c (近衛典子/演31) 内陸アジア文化論演習 b (古澤文/演25)	現代日本語論 a (岡部嘉幸/102講) 近世文学論演習 c (鶴飼伴子/演25) 児童文学論 b (佐藤宗子/101講) 言語学概説 a (田口善久/103講)	音声学 b (小野智香子/102講)	
国 際 言 語 文 化		フランス文学演習 c (泉利明/演25) アメリカ小説論 a (山本裕子/画情 1) 独語 a (水上藤悦/演21)	英作文 I a (Andrew Rayment/院講 2) 比較文学論演習 a (西村靖敬/院演 1)	アメリカ文学演習 a (山本裕子/演15) フランス文学史 b (西村靖敬/院演 1) 英会話 II a (Andrew Rayment/院講 2) ドイツ語演習 c (水上藤悦/演31) 児童文学論 b (佐藤宗子/101講) 言語学概説 a (田口善久/103講)		
資 格 ・ 留 学 生	資料・情報組織演習 a (竹内比呂也/マルチメディア講義室)		日本研究入門 a (高民定/演15)			

【前期・火曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文学部 共通						
行動科学	認知情報解析学演習 a (松香敏彦／画情 2)	社会学基礎 (講座全／101講) 西洋古代中世哲学 a (河谷淳／演16) 認知情報科学基礎演習 a (伝康晴, 松香敏彦／共演 1, 共演 2) 文化人類学研究法 a (高橋絵里香／院演 2) 内陸アジア文化論 c (古澤文／102講義室)	哲学基礎演習 (作文) a (高橋久一郎／演 24) 知識情報科学演習 a (阿部明典／共演 2) 社会学概説 b (西阪仰／マルチメディア講義室) 文化人類学調査概説 a (小谷真吾／文化人類学演習室)	哲学基礎演習 (読解) a (忽那敬三／共演 2) データ解析基礎論 a (松香敏彦／総合校舎 A 号館 5 階情報処理演習室 1) 人格・発達心理学演習 a (若林明雄／演22) 社会学研究法 a (西阪仰, 清水洋行／社会学 Aゼミ室, Bゼミ室)	心理学基礎 (講座全／101講) 近世近代哲学演習 b (忽那敬三／共演 2)	
史学	図像解釈学 a (上村清雄／視聴覚演習室 A302)	朝鮮語史料演習 a (趙景達／趙研究室) 歴史考古学 a (山田俊輔／史学演習室)	図像情報史学概説 a (三宅明正／画情 1) 中東・北アフリカ近現代社会論 a (栗田禎子／演16) 日本美術史演習 c (池田忍／視聴覚演習室 A302) 考古学演習 c (山田俊輔／史学演習室)	中東史史料演習 c (栗田禎子／演16) 近代記録史料演習 c (趙景達／史学演習室) 日本現代史 a (三宅明正／画情 1)		
日本文化		古代文化論 a (兼岡理恵／106講) 内陸アジア文化論 c (古澤文／102講義室)	言語体系論演習 c (田口善久／演22) 伝承文学論演習 a (兼岡理恵／演14) 近代文学論 d (西田一豊, 高橋孝次, 牧野悠／103講) 社会言語学 a (高民定／102講)	古代日本語演習 a (神戸和昭／演25) 音韻論 a (田端敏幸／102講)		
国際言語 文化	図像解釈学 a (上村清雄／視聴覚演習室 A302)	ドイツ文学演習 c (水上藤悦／演31) 英語学概説 a (鎌田浩二／103講) ラテン語演習 a (石井正人／演25)	独語 c (三宅晶子／演25) 社会言語学 a (高民定／102講)	ドイツ語学演習 a (田中慎／演14) 現代ドイツ事情 a (水上藤悦／演31) 英語圏文化論 b (館美貴子／103講)	独作文 a (石井正人／演25) フランス思想演習 a (土田知則／演22)	
資格・ 留学生						

【前期・水曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文学部 共通		古典ギリシア語入門 c (杉山晃太郎/演 22)		応用中国語 a (山田賢/演24)		
行動科学	現代哲学講読 c (秋葉剛史/共演 4)	科学基礎論演習 c (山田圭一/演15) 知的情報処理論 a (阿部明典/院演 1) 性の人類学 b (鈴木伸枝/102講)	現代哲学 b (山田圭一/102講) 知覚心理学演習 a (木村英司/演22) 社会調査実習 a (出口泰靖/院講 1) 文化人類学調査実習 a (鈴木伸枝/文化 人類学演習室)	東洋哲学講読 b (内山直樹/演16) 高次認知論演習 a (須藤昇/演14) 知覚心理学 a (木村英司/画情 1) 社会調査実習 b (出口泰靖/院講 1) 文化人類学調査実習 b (鈴木伸枝/文化 人類学演習室)	科学史演習 a (和泉ちえ/共演 3) 認知心理学演習 a (一川誠/演16) 社会学データ分析演 習 a (出口泰靖/院講 1)	
史学	図像解釈学演習 c (上村清雄/視聴 覚演習室 A302)	文化財学基礎演習 a (山田俊輔/史学 演習室) 東アジア古典語史料 演習 c (山田賢/演25) 国際関係史演習 a (大峰真理/演23)	東アジア史概説 (山田賢/マルチ メディア講義室) マイノリティー史演 習 a (小澤弘明/院講 2) 考古学実習 a (山田俊輔, 阿部昭 典/史学演習室)	アジア史概説 a (岩城高広/102講) 文書学基礎演習 a (引野亨輔/演22) イメージ文化論 a (三宅晶子/マル チメディア講義 室)	歴史社会学演習 a (秋葉淳/演22)	
日本文化	言語機能論演習 c (菅野憲司/院演 3)	日本文学史 f (大原祐治/103講) 現代日本語演習 a (岡部嘉幸/演24) アイヌ語 a (中川裕/共演 2) 異文化間コミュニ ケーション論 a (横田智美/院講 2)	日本語史 b (神戸和昭/103講) アイヌ文化論 a (中川裕/画情 1) 日本語学概説 b (岡部嘉幸/101講)	中世文化論 a (柴佳世乃/103講) 日本地域言語学音韻 論演習 a (通期・隔 週) (竹田晃子/演25) 多言語多文化接触論 a (高民定/画情 2) 東洋哲学講読 b (内山直樹/演16)	多言語多文化接触論 演習 a (村岡英裕, 高民 定/院演 1)	
国際言語 文化	古代ギリシア語演習 a (加藤隆/演31) フランス語演習 a (土田知則/演22)	比較宗教思想論 a (加藤隆/演31) スペイン語学概説 a (山口元/演14) 英語史 a (鎌田浩二/院講 1) ロシア語会話 b (鴻野わか菜/演 21)	芸術メディア論演習 c (館美貴子/演31) 西語 c (山口元/演14) 露語 a (鴻野わか菜/演 習21) 仏語 b (加藤隆/演25)	西洋中世語演習 a (石井正人/演15) 露語 b (鴻野わか菜/演 21) 英書講読 a (鎌田浩二/院演 1) アメリカ文化論演習 a (館美貴子/演31) イメージ文化論 a (三宅晶子/マル チメディア講義 室) 多言語多文化接触論 a (高民定/画情 2)	多言語多文化接触論 演習 a (村岡英裕, 高民 定/院演 1)	
資格・ 留学生	資料・情報組織演習 b (竹内比呂也/マ ルチメディア講 義室)					

【前期・木曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文学部 共通		応用倫理学の基礎 (秋葉剛史/102講)  精神医学 a (橘川清人/マルチメディア講義室)	人文科学の現在 8 (鴻野わか菜, 内田健介, 大森雅子, 亀田真澄, 馮英華/106講)	人文科学の現在 6 (池田忍, 檜皮瑞樹, 金鉉洙, 青木然, 太田亮, 村井則子, 吉良智子, 池川玲子, 宇井真紀子/102講)		
行動科学	認知情報科学基礎実習 a (講座全/画情 2, 院演 1, 総合校舎 A 号館 3 階自習室)  心理学上級実験 a (講座全/画情 1, 演 21, 演 22)  心理学中級実験 a (講座全/画情 1, 演 21, 演 22)	認知情報科学基礎実習 a (講座全/画情 2, 院演 1, 総合校舎 A 号館 3 階自習室)  心理学上級実験 a (講座全/画情 1, 演 21, 演 22)  心理学中級実験 a (講座全/画情 1, 演 21, 演 22)  社会学演習 a (講座全/演 15, 演 16)  文化人類学演習 a (鈴木伸枝/文化人類学演習室)				
史学		歴史学入門 a (池田忍, 岩城高広, 秋葉淳/共演 1, 共演 2, 共演 3)	日本近代史 b (長谷川亮一/院講 1)	国際関係史 (高光佳絵/院講 1)  日本中世史 a (藤井崇/103講)		
日本文化	日本文化学研究法 b (学科全/103講)  言語機能論 b (菅野憲司/院演 3)	日本文化学入門 a (学科全/103講)			言語学基礎演習 a (菅野憲司/院演 3)	
国際言語 文化	ドイツ語史 a (石井正人/演 25)	仏作文 c (Gaetan Moreau/演 25)  国際言語文化学入門 a (学科全/共同研究室 2)	仏会話 c (Gaetan Moreau/演 25)	西洋近代語演習 a (Angel Poveda/演 25)	西会話 a (Angel Poveda/演 25)  比較文化概説 b (西村靖敬, 三宅晶子, 加藤隆, 鳥山祐介, 高民定, Andrew Rayment, 鴻野わか菜/106講)	
資格・ 留学生				情報サービス論 (高木和子/マルチメディア講義室)		

【前期・金曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文学部 共通			中国文学論 b (福本郁子/206講)	ラテン語入門 a (石井正人/演22)	サンスクリット語入門 a (石井正人/演22)	
行動科学		東洋哲学概説 a (内山直樹/102講) 多様性認知論演習 a (牛谷智一/演15) 社会調査概説 a (吉岡洋介/画情1) 生態人類学 b (小谷真吾/院演2)	東洋哲学演習 c (内山直樹/演31) 認知行動基礎論 a (3-4限連続・隔週) (島宗理/演15) 社会心理学演習 a (磯部智加衣/演16) 生活史の社会学 b (鶴田幸恵/102講) 政治人類学 (高野さやか/院演2)	哲学基礎演習(作文) b (高橋久一郎/演習24) 認知行動基礎論 a (3-4限連続・隔週) (島宗理/演15) 地域社会学 b (清水洋行/102講) 文化人類学原書講読 b (深澤秀夫/共演2)	文化人類学概説 b (深澤秀夫/共演2)	
史学	図像情報史学概説 b (上村清雄/画情報1)	日本史概説 a (引野亨輔/101講) 日本思想論 b (見城悌治/203講) イスラーム地域史 b (秋葉淳/103講) ヨーロッパ中世社会論 b (花房秀一/院講1)	先史考古学演習 a (阿部昭典/史学演習室) 近世記録史料演習 b (引野亨輔/マルチ制作室) 日本美術史 b (池田忍/視聴覚演習室 A302)	ヨーロッパ美術史演習 c (上村清雄/視聴覚演習室 A302)	日本美術史演習 b (池田忍/視聴覚演習室 A302)	
日本文化		中世文学論演習 c (柴佳世乃/視聴覚演習室 A302) 生態人類学 b (小谷真吾/院演2) 日本思想論 b (見城悌治/203講)	近代文学論演習 c (大原祐治/演24) 日本語教育方法論演習 b (吉田千春/院演1) 日本美術史 b (池田忍/視聴覚演習室 A302)	中国文学演習 b (福本郁子/演31)		
国際言語 文化		広域英語圏文化論 a (Andrew Rayment/院講2) 西語 a (山口元/演14)	英語論文演習 a (Andrew Rayment/演25) スペイン文学演習 a (山口元/演14) ドイツ語学演習 c (石井正人/演22) 英会話 I a (Paul Nadasdy/マルチメディア講義室)	アメリカ文学史 a (山本裕子/103講) ロシア文学演習 a (鳥山祐介/演21) 英作文 II a (Paul Nadasdy/マルチメディア講義室)		
資格・ 留学生						

## 【通期】集中講義・その他

通期科目は、前期履修登録期間内にしか履修登録ができませんので十分注意してください。

	授 業 名 称	担 当 教 員
全学科	卒業論文（4年生必修） ※前期履修登録期間内に、忘れずに履修登録をしてください。 （指導教員毎に授業コードが異なります）	各指導教員
教職科目	教育実習（5単位） ※中学校教諭一種免許状	
	教育実習（3単位） ※高等学校教諭一種免許状	
司書資格取得	図書館インターンシップ	竹内比呂也
先進科学プログラム	先進教養セミナー	松香敏彦
人間探究コース	オムニバスセミナー1	花輪知幸
（当該プログラム学生対象）	先進科学国際演習	花輪知幸

## 【前期】集中講義・その他

各学科、必修科目があります。履修登録を忘れないようにしてください。

	授 業 科 目 名	教 員 名	開 講 日 程 ・ 教 室 等
文学部共通	人文学地域インターンシップ a	山田賢	シラバス参照
	人文科学の現在 7	大原祐治, 兵藤裕己, 庄司達也, 高木元, 久恒壮太郎	9/14 (月), 9/16 (水), 9/18 (金), 9/24 (木), 9/25 (金) 時限, 教室は掲示にて周知します。
行 動	行動科学入門 a (1年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。 (担当教員毎に授業コードが異なります。)	学科全教員	教員の指示による
	卒業論文特別演習 a (4年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。 (指導教員毎に授業コードが異なります。)	学科全教員	教員の指示による
	内陸アジア文化論 d (学科間共通化専門科目 (行動・日文))	鷲尾惟子	詳細は掲示にて周知します。
	発達心理学	小塩真司	8/5 (水)~8/7 (金) 時限, 教室は掲示にて周知します。
	映像人類学 b	村橋勲	8/3 (月)~8/7 (金) 時限, 教室は掲示にて周知します。
史 学	歴史学基礎演習 a (2年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による
	卒業論文特別演習 a (4年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による
	文化財学実習 e	山田俊輔, 阿部昭典	詳細は掲示にて周知します。
	文化財学実習 f	山田俊輔, 阿部昭典	詳細は掲示にて周知します。
	博物館学実習 c	田邊由美子	詳細は掲示にて周知します。
	博物館学実習 b	田邊由美子	詳細は掲示にて周知します。
日本文化学	卒業論文特別演習 a (4年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による
	アイヌ文化論 b	田村将人	8/3 (月)~8/6 (木) 時限, 教室は掲示にて周知します。
	社会言語学 b (学科間共通化専門科目 (日文・国際))	猿橋順子	詳細は掲示にて周知します。
	言語機能論演習 d	菅野憲司	木曜・2限中心, 教室: 院演 3
	内陸アジア文化論 d (学科間共通化専門科目 (行動・日文))	鷲尾惟子	詳細は掲示にて周知します。
国際言語文化学	卒業論文特別演習 a (4年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による
	複合文化論演習 a	鴻野わか菜	詳細は掲示にて周知します。
	社会言語学 b (学科間共通化専門科目 (日文・国際))	猿橋順子	詳細は掲示にて周知します。

### (注意点)

- 平成27年3月中旬時点で、開講日程や教室が決まっていない授業については、日程等が決まり次第、文学部掲示板にて周知します。掲示を頻繁に確認するようにしてください。
- 履修を考えている非常勤講師担当の授業科目の開講日程が、履修登録期間中に掲示で周知されない場合も、とりあえず履修登録手続きは、済ませておいてください。掲示での周知後、日的に都合がつかないことが判明した場合は、別途掲示でお知らせする期間内に学部学務グループの窓口へ申し出てください。その集中講義科目に限り、履修登録を削除します。
- 千葉大学専任教員が担当する集中講義科目については、ガイダンスの際、開講日程・開講場所等が直接周知されることがあります。また小規模の集中講義については、授業担当教員から受講生に対し、直接通知される場合もあります。その場合は、その指示に従ってください。

(補記) 教員名表記が明朝体の教員は千葉大学専任教員、ゴシック表記の教員は非常勤講師です。

【後期・月曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文学部 共通		博物館学 a (山路直充/101講)				
行動科学	言語情報処理論 b (伝康晴/103講)	古代中世哲学演習 d (和泉ちえ/共演 2) 言語認知情報学演習 b (伝康晴/共演 3) 比較認知論 b (牛谷智一/103講) 人格心理学 a (若林明雄/院講 1)	倫理思想史 d (秋葉剛史/演24) 認知情報科学特別実習 b (講座全/画情 2, 共演 3) 認知情報科学発展実習 b (講座全/画情 2, 共演 3) 心理学基礎演習 b (柳淳二/演21, 演 22) 社会学原書講読 a (米村千代/演15) 医療人類学 a (高橋絵里香/演 16)	認知情報科学発展実習 b (講座全/画情 2, 共演 3) 認知情報科学特別実習 b (講座全/画情 2, 共演 3) 心理学初級実験 b (講座全/演22, 演 23, 演24) 家族社会学 b (米村千代/206講)	心理学初級実験 b (講座全/演22, 演 23, 演24)	
史学		文書学基礎演習 c (三宅明正/演14) アジア思想史 (趙景達/史学演習室)	世界史基礎 b (小澤弘明/103講) 比較社会史 b (岩城高広/マルチメディア講義室) 歴史情報論演習 b (三宅明正/史学演習室)	外国語史料基礎演習 a (小澤弘明/院演 1) 家族社会学 b (米村千代/206講)	東南アジア社会論演習 d (岩城高広/演25) 歴史社会学演習 b (秋葉淳/演21)	
日本文化		伝承文学論 b (兼岡理恵/画情 1) 日本文学史 e (鶴飼伴子/106講)	近世文学論 d (福田安典/演31) 日本語教育方法論 b (村岡英裕/院演 2) ユーラシア言語類型論演習 a (白井聡子/共演 4)	近世文学論演習 d (鶴飼伴子/演15) 現代日本語論 b (岡部嘉幸/102講) 言語学概説 b (白井聡子/103講)		
国際言語 文化		独語 b (水上藤悦/演21) 英書講読 b (山本裕子/102講) イギリス文学演習 c (篠崎実/演31)	比較文学論演習 b (西村靖敬/演25) 演劇論 a (篠崎実/共同研究室 2) 英作文 I b (Andrew Rayment/院講 2)	英会話 II b (Andrew Rayment/院講 2) アメリカ文学演習 b (山本裕子/演14) ドイツ語演習 d (水上藤悦/演31) 仏語 a (西村靖敬/演25) 言語学概説 b (白井聡子/103講)		
資格・ 留学生	情報サービス演習 (竹内比呂也/マルチメディア講義室)		日本研究入門 b (高民定/院演 1)			

【後期・火曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文学部 共通						
行動科学	文化人類学基礎 (鈴木伸枝/マルチメディア講義室)	技術論 a (忽那敬三/演21) 認知情報科学基礎演習 b (伝康晴, 松香敏彦/共演 1, 共演 2) 社会心理学演習 b (礒部智加衣/演 16)	哲学基礎演習(読解) b (忽那敬三/共演 2) 倫理学演習 b (高橋久一郎/演 24) 認知心理学 a (一川誠/画情 1) 理論社会学 b (西阪仰/マルチメディア講義室) 文化人類学調査概説 b (高橋絵里香/演 15)	科学基礎論 a (山田圭一/106講) データ解析基礎論 b (松香敏彦/総合校舎 A 号館 5 階 情報処理演習室 1) 人格・発達心理学演習 b (若林明雄/演22) 社会学研究法 b (西阪仰, 清水洋行/社会学 Aゼミ室, Bゼミ室)	認知情報科学基礎 (講座全/マルチメディア講義室)	認知情報解析学演習 b (松香敏彦/工学部 8号館305号室)
史学	図像解釈学 b (上村清雄/視聴覚演習室 A302)	外国語史料基礎演習 d (大峰真理/共演 4) 文化財学基礎演習 b (池田忍/視聴覚演習室 A302) 朝鮮語史料演習 b (趙景達/史学演習室)	日本史概説 b (趙景達/101講) 国際移動交流史論 b (栗田禎子/102講) 考古学演習 d (山田俊輔/史学演習室)	中東史料演習 d (栗田禎子/演15) 近代記録史料演習 d (趙景達/史学演習室) 日本美術史 a (池田忍/視聴覚演習室 A302)		日本美術史演習 d (池田忍/視聴覚演習室 A302)
日本文化		古代文学論 b (兼岡理恵/102講) ユーラシア文化概説 (兒玉香菜子/103講)	フィールド調査法演習 b (齋藤典子/演16) ユーラシア言語接触論演習 a (田口善久/演25) 伝承文学論演習 b (兼岡理恵/演14)	音韻論 b (田端敏幸/演16) 中国・朝鮮言語文化論演習 a (兒玉香菜子/演 23) 古代日本語演習 b (神戸和昭/演25) 日本美術史 a (池田忍/視聴覚演習室 A302)		
国際言語 文化	言語コミュニケーション論概説 a (鎌田浩二/102講) 図像解釈学 b (上村清雄/視聴覚演習室 A302)	英語圏文化論 a (篠崎実, Andrew Rayment/演24) オーストリア文学演習 a (水上藤悦/演31) 英語学概説 b (鎌田浩二/画情報 1) ラテン語演習 b (石井正人/演22)	ドイツ文化論演習 a (三宅晶子/演21) イギリス文学概説 a (篠崎実/院講 2)	ドイツ語学演習 b (田中愼/院演 2) アメリカ現代文化論 a (館美貴子/102講) ドイツ文学史 a (水上藤悦/演31)	独作文 b (石井正人/演21) フランス文学演習 a (土田知則/演31)	
資格・ 留学生				日本研究入門 c (高民定, 千葉慶, 高橋孝次, 西田一豊/演24)		

【後期・水曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文学部 共通		大学図書館論 (竹内比呂也／画 情2)		応用中国語b (内山直樹／演24) 古典ギリシア語入門 d (和泉ちえ／演23)		
行動科学		知の情報処理論b (阿部明典／院演 2) 知覚心理学演習b (木村英司／演15) 高次認知論a (須藤昇／103講) 産業社会学a (吉岡洋介／106講)	哲学基礎 (講座全／206講) 知識情報科学演習b (阿部明典／院演 2) 社会調査実習c (出口泰靖／院講 1) 文化人類学調査実習 c (鈴木伸枝／文化 人類学演習室)	高次認知論演習b (須藤昇／演22) 社会心理学a (礒部智加衣／画 情1) 社会調査実習d (出口泰靖／院講 1) 文化人類学調査実習 d (鈴木伸枝／文化 人類学演習室)	現代哲学演習d (山田圭一／演15) 認知心理学演習b (一川誠／演16) 文化人類学研究法b (鈴木伸枝／院演 2)	
史学	図像解釈学演習d (上村清雄／視聴 覚演習室A302)	文化財学概説 (山田俊輔／院講 1) 東アジア古典語史料 演習d (山田賢／演25) 国際関係史演習b (大峰真理／院演 1)	東アジア地域史b (山田賢／103講) マイノリティー史演 習b (小澤弘明／院講 2) 考古学実習b (山田俊輔, 阿部昭 典／史学演習室)	文書学基礎演習b (引野亨輔／共演 1) 民俗・伝承論b (野村典彦／106講) 西ヨーロッパ地域史 a (大峰真理／102講)	地中海地域史a (秋葉淳／103講)	
日本文化	言語機能論演習b (菅野憲司／院演 3) 小説論b (土田知則／102講)	現代日本語演習b (岡部嘉幸／演24) アイヌ語b (中川裕／共演2) 現代文学論a (大原祐治／102講)	日本語教育方法論演 習a (佐藤尚子／国際 教育センター2 階講義室2) アイヌ文化論演習a (中川裕／共演2) 日本語学概説a (神戸和昭／102講) 東アジア地域史b (山田賢／103講)	多言語多文化接触論 b (村岡英裕／院講 2) 民俗・伝承論b (野村典彦／106講) 日本地域言語学音韻 論演習a(通期・隔 週) (竹田晃子／演25)	民俗文化論b (和田健／国際教 育センター1階 大講義室) 多言語多文化接触論 演習b (村岡英裕, 高民 定／共演2)	
国際言語 文化	小説論b (土田知則／102講) 古代ギリシア語演習 b (加藤隆／演31)	比較宗教思想論演習 d (加藤隆／演31) スラヴ文化論演習c (鴻野わか菜／演 21) 英語史b (鎌田浩二／画情 1) スペイン語学概説b (山口元／演14)	フランス文化論a (加藤隆／演22) ロシア語演習b (鳥山祐介／演21) 芸術メディア論演習 d (館美貴子／演31) 西語d (山口元／演14)	アメリカ文化論演習 b (館美貴子／演31) 生成文法理論演習a (鎌田浩二／演15) イメージ文化論演習 a (三宅晶子／演21) 多言語多文化接触論 b (村岡英裕／院講 2) 西ヨーロッパ地域史 a (大峰真理／102講)	多言語多文化接触論 演習b (村岡英裕, 高民 定／共演2)	
資格・ 留学生					情報検索演習 (竹内比呂也, 小 野永貴／総合校 舎A号館5階情 報処理演習室1)	

【後期・木曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文学部 共通		精神医学 b (橘川清人／マルチメディア講義室)	地誌 b (熊倉和歌子／103 講義室) 人文科学の現在 5 (和泉ちえ, 佐藤賢一, 堀尾耕一, 鈴木孝典, 富澤かな／206 講)	情報倫理学 (山田圭一, 谷川卓, 壁谷彰慶／102 講)	生命倫理学 (高橋久一郎／206 講) 現代社会で働くこと (山田賢, 他／102 講)	
行動科学	認知情報科学基礎実習 b (講座全／画情 2, 院演 1, 総合校舎 A 号館 3 階自習室) 心理学中級実験 b (講座全／画情 1, 演 21, 演 22) 心理学上級実験 b (講座全／画情 1, 演 21, 演 22)	倫理学演習 d (秋葉剛史／共演 4) 認知情報科学基礎実習 b (講座全／画情 2, 院演 1, 総合校舎 A 号館 3 階自習室) 心理学中級実験 b (講座全／画情 1, 演 21, 演 22) 心理学上級実験 b (講座全／画情 1, 演 21, 演 22) 社会学演習 b (講座全／演 15, 演 16) 文化人類学演習 b (小谷真吾／文化人類学演習室)	知識論講読 c (小草泰／院講 1)		国際社会学 a (木下ちがや／101 講)	
史学		史学方法論 b (上村清雄, 栗田禎子, 山田俊輔, 引野亨輔／103 講) 歴史学入門 b (趙景達, 保坂高殿, 阿部昭典／共演 1, 共演 2, 共演 3)		中世記録史料演習 c (藤井崇／共演 4)	博物館学実習 a (田邊由美子／演 25)	
日本文化	言語機能論 a (菅野憲司／院演 3) 日本文化学研究法 a (学科全／103 講)	日本文化学入門 b (学科全)	日本文学講読 b (久保勇／マルチメディア講義室)		言語学基礎演習 b (菅野憲司／院演 3)	
国際言語文化		国際言語文化学入門 b (学科全／102 講)	仏会話 d (Gaetan Moreau／演 25)	西洋近代語演習 b (Angel Poveda／演 24)	西会話 b (Angel Poveda／演 24)	
資格・留学生					資料・情報組織論 (那須雅照／マルチメディア講義室)	

【後期・金曜】

	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限
文学部 共通		人文地理学 b (西律子/103講)		ラテン語入門 b (石井正人/演21) 科学技術倫理学 (忽那敬三, 非常 勤講師/マルチ メディア講義室) 自然地理学 b (仁科淳司/102講)	サンスクリット語入 門 b (石井正人/演21)	
行動科学		文化論講読 c (吉田量彦/共演 1) 多様性認知論演習 b (牛谷智一/演25) 社会調査概説 b (吉岡洋介/総合校 舎 A 号館 5 階情報 処理演習室) 生物人類学演習 a (小谷真吾/院演 2)	東洋哲学演習 d (内山直樹/演31)	医療と福祉の社会学 a (鶴田幸恵/101講)		
史学		アジア史概説 b (秋葉淳/102講) 日本近世史 a (引野亨輔/画情 1)	ヨーロッパ・アメリ カ史概説 a (保坂高殿/103講) 先史考古学演習 b (阿部昭典/史学 演習室) 近世記録史料演習 c (引野亨輔/マル チ制作室)	ヨーロッパ美術史演 習 d (上村清雄/視聴 覚演習室 A302)		
日本文化		中世文学論演習 d (柴佳世乃/視聴 覚演習室 A302)	ユーラシア口承文芸 論 a (村山和之/画情 1) 近代文学論演習 d (大原祐治/演24)	中世文化論 b (柴佳世乃/103講)		
国際言語 文化		広域英語圏文化論 b (Andrew Rayment/ 演22) 西語 b (山口元/演14)	英会話 I b (Paul Nadasdy/ マルチメディア 講義室) スペイン文学演習 b (山口元/演14) 広域英語圏文化論演 習 c (Andrew Rayment/ 演22) ドイツ語学演習 d (石井正人/演21)	アメリカ文学史 b (山本裕子/院講 1) 英作文 II b (Paul Nadasdy/ 演22) 露語 c (鳥山祐介/演31)	露語 d (鳥山祐介/演31)	
資格・ 留学生						

## 【後期】集中講義・その他

各学科、必修科目があります。履修登録を忘れないようにしてください。

	授 業 科 目 名	教 員 名	開講日程・教室等
文学部共通	人文学国際フィールドワーク b	鴻野わか菜, 鳥山祐介	詳細は掲示にて周知します。
	人文学国際インターンシップ b	鴻野わか菜, 鳥山祐介	詳細は掲示にて周知します。
	人文学国際インターンシップ a	山田賢	詳細は掲示にて周知します。
	電子図書館論 (平成24年度以降入学生対象)	三輪真木子	詳細は掲示にて周知します。
	専門図書館論 (平成23年度以前入学生対象)	三輪真木子	詳細は掲示にて周知します。
行 動	行動科学入門 b (1年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。 (担当教員毎に授業コードが異なります。)	学科全教員	教員の指示による
	卒業論文特別演習 b (4年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。 (指導教員毎に授業コードが異なります。)	学科全教員	教員の指示による
	文化論講読 a	長谷部英一	詳細は掲示にて周知します。
	心理言語学 a	松井智子	詳細は掲示にて周知します。
	宗教人類学	藏本龍介	2/15 (月), 17日 (水), 18日 (木), 19日 (金) 時限, 教室は掲示にて周知します。
	ユーラシア文化論 d (学科間共通化専門科目 (行動・日文))	阿良田麻里子	詳細は掲示にて周知します。
史 学	歴史学基礎演習 b (2年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による
	卒業論文特別演習 b (4年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による
	北アメリカ地域史 a	未定	詳細は掲示にて周知します。
日本文化学	卒業論文導入演習 (3年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による
	卒業論文特別演習 b (4年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による
	中国・朝鮮言語文化論 a	古澤文	詳細は掲示にて周知します。
	ユーラシア文化論 d (学科間共通化専門科目 (行動・日文))	阿良田麻里子	詳細は掲示にて周知します。
国際言語文化学	論文作成演習 (3年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による
	卒業論文特別演習 b (4年生必修) ※忘れずに履修登録をしてください。	学科全教員	教員の指示による

(注意点)

- 平成27年3月中旬時点で、開講日程や教室が決まっていない授業については、日程等が決まり次第、文学部掲示板にて周知します。掲示を頻繁に確認するようにしてください。
- 履修を考えている非常勤講師担当の授業科目の開講日程が、履修登録期間中に掲示で周知されない場合も、とりあえず履修登録手続きは、済ませておいてください。掲示での周知後、日期的に都合がつかないことが判明した場合は、別途掲示でお知らせする期間内に学部学務グループの窓口へ申し出てください。その集中講義科目に限り、履修登録を削除します。
- 千葉大学専任教員が担当する集中講義科目については、ガイダンスの際、開講日程・開講場所等が直接周知されることがあります。また小規模の集中講義については、授業担当教員から受講生に対し、直接通知される場合もあります。その場合は、その指示に従ってください。

(補記) 教員名表記が明朝体の教員は千葉大学専任教員、ゴシック表記の教員は非常勤講師です。

### 3. 事務手続きについて

#### 1) 窓口取扱いの時間等について

文学部学生の主な窓口は、次の通りです。なお、大学行事や入学試験等のため、窓口業務を休止することもあります。その場合は掲示等によりお知らせします。

窓口の場所：文学部棟1階 人文社会科学系事務部（学部学務グループ）  
 TEL：043-290-2352 E-Mail：bhgakumu@office.chiba-u.jp  
 窓口取扱時間：平日（土日祝祭日を除く）8：30～17：00  
 ※授業期間外は、12：00～13：00は昼休みとなります。  
 ※8月お盆時期および年末年始は、窓口閉鎖となります。

#### 2) 掲示

学部から学生への通知や連絡事項は、全て学部所定の掲示板（文学部棟1階）に掲示していきます。必要な手続きや締め切りを確認しなかったために不利益を被ることのないよう、機会あるごとに積極的に掲示板を確認してください。

なお、授業情報（休講、補講のお知らせ等）や一部連絡事項等については、千葉大学通知板システム（15ページ参照）でも確認することができます。ただし、全ての情報を掲載しているわけではありませんので、必ず学内の掲示板の掲示を直接見るよう心掛けてください。

#### 3) 学生呼び出しについて

学部学務グループや教員から個人に対して、連絡事項等の呼び出しをすることがあります。呼び出しの際は、学部掲示板に学生証番号で呼び出しますが、緊急の場合には直接電話やメールにより連絡することもありますので、連絡先等が変更になった場合には、速やかに履修登録システムで新しい連絡先等を入力してください。

#### 4) 事務手続き等の案内

種 別	摘 要	手続窓口
授業料関係	<p>本学の授業料の納入方法は、原則として口座引落方式で行い、前期授業料は4月下旬、後期授業料は10月下旬に、指定銀行・郵便局口座からの引落により授業料を徴収します。</p> <p>授業料額については学部掲示板（授業料関係）に掲示しますので、各自必ず確認をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 納入期限 前期分4月末日 後期分10月末日 ※土日の場合はその前日となります。</li> <li>○ 平成27年度授業料口座引落日 前期分授業料 平成27年4月27日（月） 後期分授業料 平成27年10月27日（火）</li> </ul>	財務部経理課 043-290-2068
	<p>授業料は、経済的理由により授業料の納入が困難であり、且つ学業優秀と認められた場合など、申請に基づく選考の結果、全額または半額免除されることがあります。また、授業料徴収猶予、月額分納の制度もあります。</p> <p>申請時期については、前期分は前年度1月下旬頃、後期分は7月上旬頃に掲示されますので注意してください。</p>	学務部学生支援課 043-290-2178

種 別	摘 要	手続窓口
証明書関係 各種証明書の発行	次の各種証明書については、総合校舎A号館1階若しくは学生支援課（学生支援プラザ内）に設置の証明書自動発行機で発行できます。 <b>1～4年次生</b> 在学証明書、健康診断証明書（学内健康診断を受診した者）、学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証） <b>3年次後期、4年次のみ発行可能</b> 成績証明書 <b>4年次生のみ発行可能</b> 卒業見込証明書 その他証明書の発行が必要な者は、学部学務グループで証明書交付願により申し込んでください。（発行には所定の日数がかかりますので余裕を持って早めに申し込んでください。即日発行はできません。）	学部学務グループ
身分関係	休学願	学部学務グループ
	復学願	
	退学願	
	氏名変更	
	現住所等の変更	
学生証の再発行	※身分異動（休学、休学延長、復学、留学、退学）については、全て事前に指導教員・教務委員から承諾を得る必要があります。 疾病その他の事由により2ヶ月以上修学することができない場合、休学事由を付して休学を願ひ出てください。 休学願の提出期限は、原則として休学しようとする日から起算して1ヶ月前までとします。（疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。）  休学期間満了の場合、または休学期間であっても休学事由が消滅した場合には、原則として復学しようとする日から起算して1ヶ月前までに復学願を提出してください。（疾病の場合は、医師の診断書を添付してください。）  退学しようとする日から起算して1ヶ月前までに手続きを行ってください。なお、退学する学期の授業料を完納しなければなりません。  改正のため氏名変更が生じたら、速やかに学部学務グループに届け出てください。  本人や保護者などの本人以外の現住所、連絡先等が変更になった場合は、速やかに履修登録システムで新情報を入力してください。また、窓口（学務グループ）へ書面にて届出てください。  紛失や盗難、在籍期間延長のために再発行が必要な場合は、学部学務グループで学生証再発行申請書を交付します。 再発行には、35×25mmのカラー写真および再発行用カード（350円、生協ブックセンター販売）が必要になります。 ※在籍期間延長の場合は、再発行用カードは不要です。	
その他	各種奨学金制度	学部学務グループ 043-290-2178, 2169
	通学証明	学部学務グループ
	自転車通学	生協住まい・アルバイト紹介センター

文学部ホームページ

<http://www.l.chiba-u.ac.jp/>



千葉大学授業シラバス

<http://www.chiba-u.ac.jp/student/syllabus/>

履修登録システム（学内 LAN に接続している端末からのみアクセス可能）

<http://registration.ss.chiba-u.jp/index.php>

千葉大学通知板システム（文学部の連絡事項、休講・教室変更等のお知らせ）

<https://cubbs.chiba-u.jp/board/>



（ログイン後、「学部学生通知板」→「文学部」）